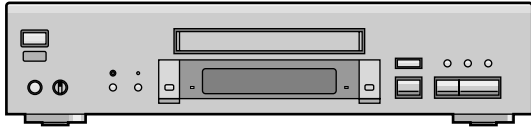
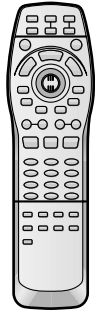
Panasonic

DVD AUDIO/VIDEO プレーヤー

取扱説明書

品番 **DVD-RP91**

このたびは、DVD AUDIO/VIDEO プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

DVD ビデオのリージョン番号について

DVD ビデオには、発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた**リージョン番号**があります。本機の番号は**「2」**です。
本機は、**「2」**（または**「2」**を含むもの）と**「ALL」**が表示されたディスクの再生が可能です。

例）

など

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

保証書別添付　**上手に使って上手に節電**

RQT5732-S

特長

高画質

54 MHz／12 bit ビデオ D／A コンバーターを搭載し、プログレッシブ映像再生に対応（切り換え式）。ちらつきの少ない高密度なプログレッシブ映像を再現します。また、多彩な「画質調節機能」や「デジタルノイズリダクション機能」により、DVD の持つ繊細で高密度な映像を十分に再現し、楽しむことができます。

高音質

192 kHz／24 bit オーディオ D／A コンバーターを搭載し、高音質記録されたDVD オーディオに対応しています。
音楽 CD の音質を向上させる「リマスター機能」や映像信号の影響を遮断し、高音質を維持する「オーディオオンリー機能」など、高音質再現のためのさまざまな技術を盛り込みました。

DVD-RAM 対応

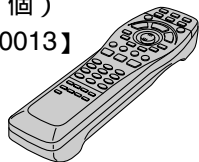
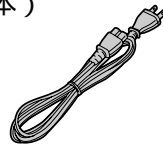
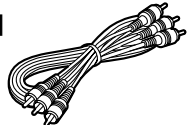
DVD ビデオレコーディング規格に準拠した 4.7 GB の DVD-RAM ディスクの再生が可能です（☞6 ページ）。見たい番組を素早く出画できるプログラムナビ再生やプレイリスト再生によって、DVD-RAM ディスクの再生を簡単に操作できます。

お部屋を映画館に

ドルビーデジタル／DTS デコーダーを内蔵していますので、AV アンプやスピーカーと組み合わせて本格的なホームシアターを楽しむことができます。

付属品のご確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
【 】内の数字は買い替え時の品番を表します。

☐ **リモコン（1 個）**
【N2QAJB000013】

☐ **電源コード（1 本）**
【VJA0536】

☐ **音声／映像コード（1 本）**
【VJA0788-D】

☐ **リモコン用乾電池（2 本）**

お願い
付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

準備

使いかた

ご参考

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■**表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

表示	内容
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■**お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
●	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

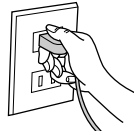
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

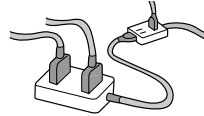
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

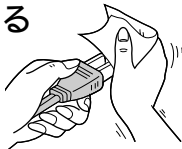
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ご使用について

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

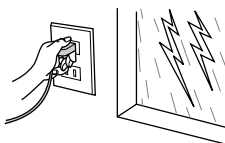
分解、改造をしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

雷について

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

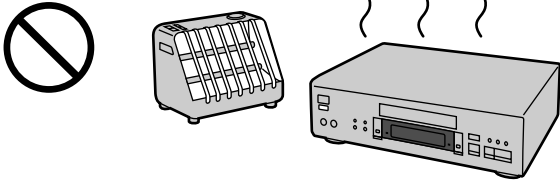
電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

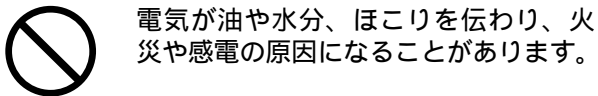
設置・接続について

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **高い場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

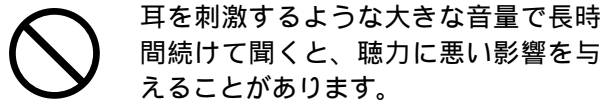
ご使用について

コードを接続した状態で移動しない

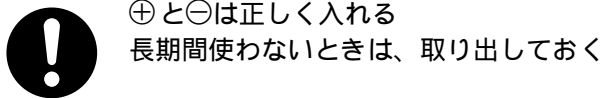
- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

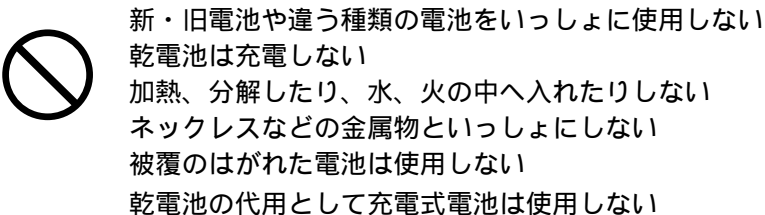
ディスクトレイに指を入れ、挟まれないように注意する

- 閉まるときに挟まれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

乾電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使わないときは、取り出しておく**

電池は誤った使いかたをしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使用しない**
- **乾電池の代用として充電式電池は使用しない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

ディスクについて

再生できるディスク

名称	ロゴマーク	映像方式	本書内マーク
DVD-RAM (4.7GB)	DVD RAM RAM4.7	NTSC	RAM
DVD オーディオ	DVD AUDIO	NTSC (PAL は音声のみ)	DVD-A
DVD ビデオ	DVD VIDEO DVD VIDEO	NTSC	DVD-V
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	NTSC	VCD
音楽 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT		CD

■ DVD ビデオディスク

発売地域ごとに割り当てられた**リージョン番号**が付与されています。

- 本機のリージョン番号は「2」です。
- 「2」（または「2」を含むもの）もしくは、「ALL」が表示された DVD ビデオが再生できます。

など

■ CD-R/CD-RW ディスク

本機は、CD-DA フォーマットまたは、ビデオ CD フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

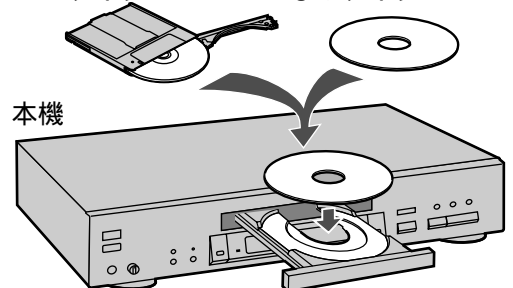
※音楽用 CD-R/CD-RW の再生対応機器で再生できるよう処理すること。

お知らせ

DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD の中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。ディスクのジャケットなどもご覧ください。

■ DVD-RAM ディスク

いろいろな種類がありますが、本機では以下の条件に合ったディスクが再生できます。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

タイプ	● カートリッジなし ● カートリッジ付でディスク取出しが可能なもの（**TYPE 2**）
容量	4.7GB (12 cm) と 2.8GB (8 cm)
記録媒体	DVD ビデオレコーダー、DVD ビデオカメラ、パソコンなどビデオレコーディング規格 Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録されたディスク

お願い

- TYPE 2 のディスクを再生するときは、必ずディスクをカートリッジから取り出してください（ディスクの取り出し方などの詳細は、ディスクに付属の説明書などをご覧ください）。
- 取り出したディスクに傷、汚れを付けないでください。
- 使用後は、カートリッジに収納することをおすすめします。なお、収納時には、カートリッジの印刷面とディスクの印刷面を同じ側にしてください。

お知らせ

番組と番組のつなぎ目部分など、なめらかに再生できない場合があります。

再生できないディスク

- リージョン番号**「2」「ALL」以外の** DVD ビデオ
- PAL 方式で記録されたディスク
  （DVD オーディオの音声部分は再生できます。）
- DVD-RAM (2.6GB、TYPE1)

● DVD-ROM	● DVD-R※	● + RW
● DVD-RW	● CD-ROM	● CDV
● CD-G	● CVD	● SVCD
● SACD	● フォト CD	など

※記録された状態によって再生できるディスクがあります。

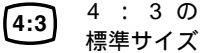
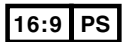
お願い

ハート型など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。（機器の故障の原因となります。）

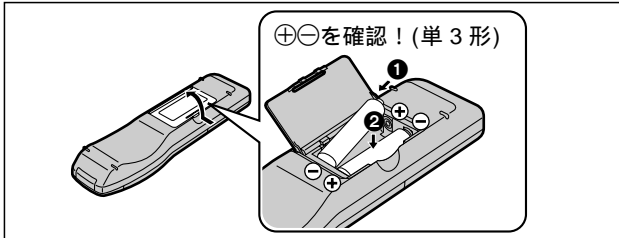
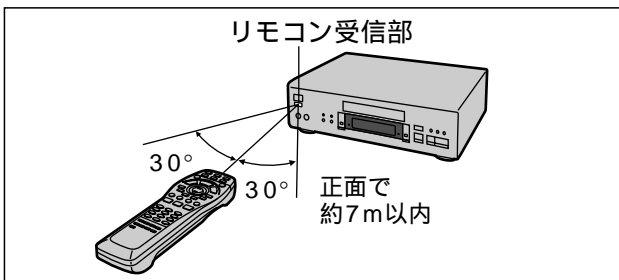
■ **ジャケット上のマークについて**
(以下は一例です)

● **音声数**
● **字幕数**
● **アングル数**

(数字は収録されている音声／字幕／アングルの数を示します。)

● **記録されている音声の種類**
本機はドルビーデジタル／DTSデコーダーを内蔵しているので右記ロゴのついたディスクの再生が可能です。

● **画面サイズ(横:縦)**
4:3 **4:3の標準サイズ**
LB **レターボックス**(4:3で上下に黒帯が入っている画面)
16:9 LB **16:9のワイドサイズ** 標準サイズのテレビではレターボックスで再生される。
16:9 PS **16:9のワイドサイズ** 標準サイズのテレビではパン&スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生される。

映像の見え方は、テレビ側の設定によっても異なります。

リモコンの準備

乾電池(付属)を入れる

リモコンの使用範囲

お願い
● 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
● 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
● 他の機器のリモコンと同時に使わない。
● 受信部とリモコン先端のほこりに注意する。

本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなることがあります。

テレビを操作する

付属のリモコンでテレビのメーカー番号を設定すると、各社テレビの基本操作ができます。

リモコンの[電源 ⏻](本機用)を押しながら、リモコンの数字ボタンでメーカー番号(2ケタ)を入力する

数字を入力するには
例)17を入力する
リモコンの**数字ボタン[1]、[7]**を押す

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下(新1)	01	三菱1	12
シャープ2	02	パイオニア	13
ソニー1	03	ビクター	14
東芝	04	NEC2	15
日立	05	三洋2	16
NEC1	06	ソニー2	17
三洋1	07	アイワ	18
三菱2	08	フナイ	19
富士通ゼネラル	09	松下(新2)	20
松下(旧)	10	松下(新3)	21
シャープ1	11	—	—

● 松下などメーカー番号が複数ある場合は、番号を入力してみてテレビを操作できる番号を選んでください。
● リモコンの電池を交換したときは、メーカー番号を再設定してください。

操作	使用ボタン
電源の「入」「切」	電源⏻
入力切り換え	テレビ/ビデオ
チャンネル選択	チャンネル ∧ ∨
音量調節	音量 + −

テレビと接続する

工場出荷時のスピーカー設定は、「6 本のスピーカーを接続する」ことを前提としていますが、ここではテレビのスピーカーでお手軽に音声を楽しむ接続方法を紹介します。DVD を 5.1ch などの迫力ある音声で楽しむには、AV アンプと 6 本のスピーカーを接続することをおすすめします（接続方法などの詳細は、28 ページからの説明をご覧ください）。

お願い

- 本機とテレビの電源を切ってください。またテレビの説明書もご参照ください。
- 本機をアンプなど高温になる機器の上に置かないでください。
- コードの色をご確認の上、正しく接続してください。

下記の映像入力端子を持つテレビに接続する場合は、映像コード（黄）のかわりに下記のいずれかの接続で、より鮮明な画像を得られます。すべての端子がテレビに付いている場合は「Q ＆ A」（☞40 ページ）をご参照ください。（下図は一例です。）

テレビ側の入力端子

S映像入力　コンポーネントビデオ入力 Y C_B C_R　D映像入力

（緑）（青）（赤）

S 映像コード（別売）　**コンポーネントビデオコード（別売）**　**D 端子ケーブル（別売）**

Y　P_B/C_B　P_R/C_R

S1 映像出力　S1/S2 映像出力　コンポーネント映像出力（525P/525I）Y（緑）P_B/C_B（青）P_R/C_R（赤）　D1/D2 映像出力

本機側の出力端子

- **コンポーネント映像出力端子**および **D1 ／ D2 映像出力端子**：プログレッシブ映像出力に対応。本機のコピーガードシステムに適合した 525p 映像入力端子付テレビに接続すると、プログレッシブ映像が楽しめます。（「対応テレビ一覧表」☞43 ページ／プログレッシブ出力への切り換え ☞10 ページ）
- **S1、S1/S2 映像出力端子**：詳細 ☞38 ページ

テレビ　映像入力　音声入力 左 右　（黄）（白）（赤）

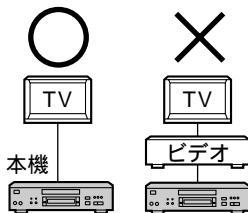
本機　AC 入力～　（黄）（白）（赤）

音声／映像コード（付属）

電源コンセントへ（AC 100 V、50/60 Hz）

電源コード（付属）

お願い

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。テレビと本機の間にビデオテープレコーダーや AV セレクターを接続すると、著作権保護の影響により、再生時に画面が乱れることがあります。

テレビに接続するときは、以下の端子には接続しないでください。接続すると、画面が乱れたり映らないことがあります。

- DVD に対応していないハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子
- 本機のコピーガードシステムに対応していない 525p 映像入力端子

テレビに合わせて設定する

お手持ちのテレビやお好みに合わせて設定を変えることができます。

準　備

テレビの電源を入れて、外部入力（「ビデオ 1」など）を切り換える。

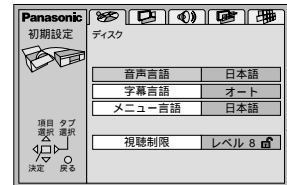
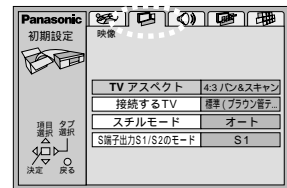
お知らせ

- DVD の画面横縦比はディスクによってさまざまです。
- 標準サイズ（4 ： 3）のテレビへの表示方法は右記の設定で選べます。
- ワイドテレビ（16 ： 9）への表示方法は、プログレッシブ出力（☞38 ページ）のときは、本機の GUI 操作（4 ： 3 ASPECT ☞27 ページ）で、インターレース出力のときは、テレビ側の画面モードで切り換えることができます。
- テレビのメーカーや機種によっては、最適な設定が手順 7 の内容と異なる場合があります。
- GUI 画面を使って画質を調節することもできます。（「画質モード」☞27 ページ）

1 [電源 ⏻] を押す

（本体の電源が入ります。）

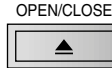
2 [初期設定] を押す

（初期設定画面が表示されます。）

3 ジョイスティック［◀、▶］で 映像タブを選ぶ

4 ジョイスティック［▲、▼］で “ TV アスペクト ” を選び、[決定] を押す

5 ジョイスティック［▲、▼］で テレビ画面の横縦比を選び、[決定] を押す

- **4 ： 3 パン＆スキャン（工場出荷時）**
  標準サイズのテレビ［ワイドサイズのソフトをパン＆スキャン※（☞39 ページ）で映したいとき］
- **4 ： 3 レターボックス**
  標準サイズのテレビ［ワイドサイズのソフトをレターボックス（☞39 ページ）で映したいとき］
- **16 ： 9**
  ワイドサイズのテレビ

※ワイドサイズ（16 ： 9）のソフトの中には、この設定にかかわらず、レターボックスでしか映らないものもあります。

（手順 3 の画面に戻ります。）

6 ジョイスティック［▲、▼］で “ 接続する TV ” を選び、[決定] を押す

7 ジョイスティック［▲、▼］で テレビの種類を選び、[決定] を押す

- **標準（ブラウン管テレビ）（工場出荷時）**
  標準／ワイド／ハイビジョン／ワイドクリアビジョン／ワイドプラズマテレビなど
- **3 管式プロジェクター**
  ビデオプロジェクターなど
- **液晶プロジェクター**
  液晶プロジェクター、液晶テレビなど
- **プロジェクションテレビ**
  プロジェクションテレビなど

8 [初期設定] を押す

（設定が終了します。）

■ ひとつ前の画面に戻るには

[リターン]を押す

ディスクを再生する

1 押して 電源を入れる

プログレッシブ出力で再生するには
本体の**[PROGRESSIVE OUT]**ボタンを押してランプを点灯させる

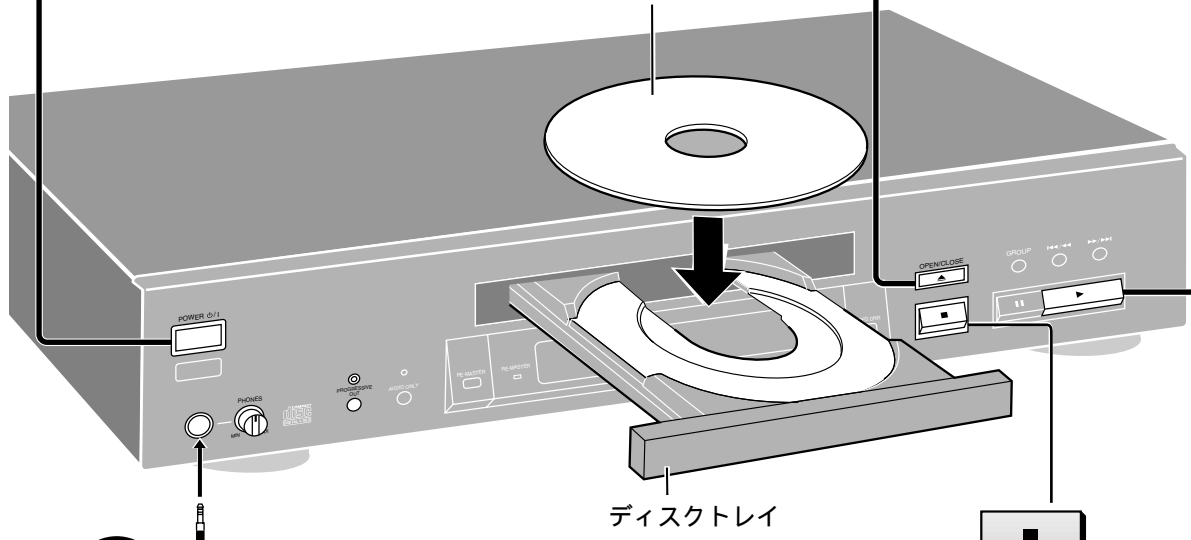
2 押して トレイを開け、ディスクをおく

TYPE 2のDVD-RAMディスクを再生するときは、ディスクをカートリッジから取り出してください。(☞6ページ)

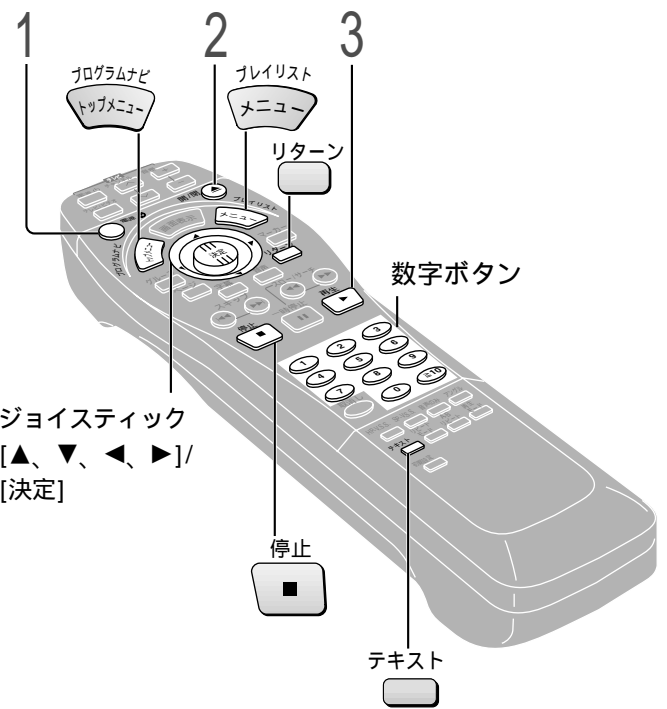
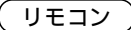
ラベルを上にする（両面ディスクでは再生したい側のラベルを上にする）

3 押す

トレイが閉まり、再生が始まります。

表示窓（例： DVDビデオの場合）

■ ヘッドホンで聴くには

1 **[PHONES]** を“MIN”（最小）の位置まで回し、ヘッドホン（別売）を接続する
2 **[PHONES]** を回して音量を調節する

お願い
耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

メニュー画面を表示したときは

DVD-A DVD-V VCD

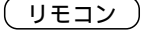
例）

1. 演歌
2. ジャズ
3. ロック
4. ポップス

数字ボタンを押して項目を選ぶ

- 2 ケタの数字を入力するには
  例）23 を入力する
  [≧10] を押し、[2]、[3] と続けて押す

- DVD の場合、**ジョイスティック［▲、▼、◀、▶］**で項目を選び、**[決定]** を押しても選べます。

■メニュー画面に戻すには リモコン

DVD-A DVD-V	DVD-V	VCD
再生中	再生中	再生中
押す プログラムナビ トップメニュー	押す プレイリスト メニュー	押す リターン

<複数のメニューを持つ DVD ビデオの場合>

[トップメニュー]を押してもメニュー画面に戻すことができますが、**[メニュー]**を押した場合とは異なるメニューが表示される場合があります。

例）タイトル 2 再生中にそれぞれのボタンを押すと

再生を止める

再生中

リモコン　押す　停止

または

本体　押す

表示窓に "▷" が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。
（続き再生メモリー機能）

"▷" 点滅中**[▶]（再生）**を押すと、止めた位置から再生が始まります。

DVD ビデオの場合

さらに右の画面を表示

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります。

表示中に**[▶]（再生）**を押すと、再生を止めた位置までの各チャプターの冒頭を数秒再生した後、止めた位置から再生が始まります。（**あらすじリプレイ：**同一タイトル内でのみ働きます。）

[▶]（再生）を押さずに放置しておくと画面が消え、止めた位置から再生が始まります。

■ 続き再生メモリー機能を解除するには

表示窓の "▷" が消えるまで**[■]**を押す

お知らせ

- あらすじリプレイができないディスクもあります。
- **続き再生メモリー機能は**
  ー電源を切っても働いています。[プレイリスト（☞21 ページ）再生中は、電源を切ると解除されます。]
  ーディスクトレイを開けると解除されます。
  ー再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

■ディスクに記録されたテキスト情報を表示するには DVD-A DVD-V CD

ディスクにテキスト情報が記録されている場合、ディスクタイトル、アーチスト名、曲名などが画面に表示されます。

リモコン　押す　テキスト

押すたびに表示・非表示が切り換わります。
（表示窓には、テキスト情報の一部がスクロールします。）

- ディスクによっては、テキスト情報が表示できない場合があります。

■節電のために

停止状態で約 30 分経過すると、自動的に電源が切れます**（オートパワーオフ）**。ただし、電源が切れた状態でも、約 1.5 W の電力を消費しています。
長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

■"⃠"がテレビ画面に表示されたときは

その操作はできません。

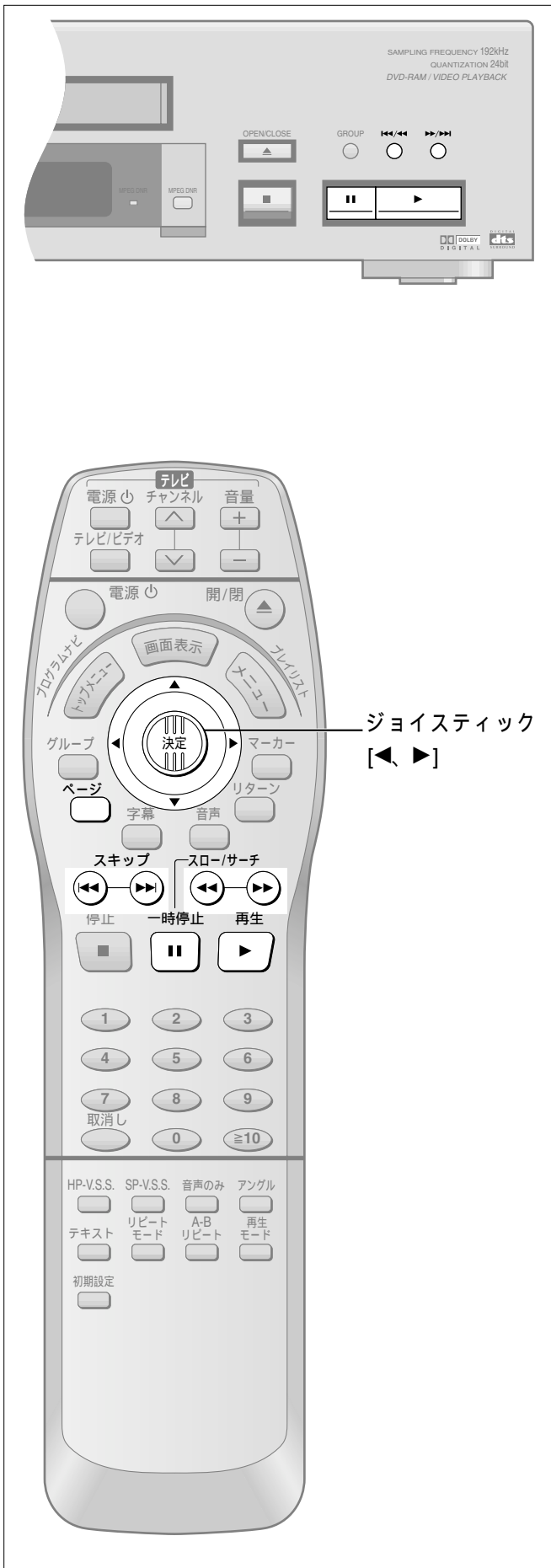
ディスク側で禁止

本機側で禁止

お願い

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護と、テレビ画面への画像の焼き付きなどを防止するため、続けて再生しないときは**[■]**を押して、再生を止めてください。
- DVD 再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。**再生したときにテレビや AV アンプの音量を上げた場合は、**テレビ放送に切り換える前に**必ず元の音量に戻してください。**突然大きな音が出ることがあります。

ディスクを再生する（つづき）

ジョイスティック
[◀、▶]

静止（一時停止）する

RAM　DVD-A　DVD-V　VCD　CD

再生中

リモコン
押す
一時停止

または

本体
押す

[▶]（再生）を押すと、通常再生に戻ります。

早送り・早戻しする

RAM　DVD-A　DVD-V　VCD　CD

再生中

リモコン
押す
スロー/サーチ

または

本体
押し続ける
⏮/◀◀　▶▶/⏭

[◀◀][⏮/◀◀]：戻る
[▶▶][▶▶/⏭]：進む

- [▶]（再生）を押すと、通常再生に戻ります。
- リモコンでは押すたびに、本体では押し続けると速くなります。（5 段階）
- DVD-RAM/DVD オーディオ（動画部）、DVD ビデオ、ビデオ CD は早送り 1 速時のみ音声が聞こえます。音声を消すこともできます。（「早送り時の音声」☞32 ページ）

スロー再生する

RAM　DVD-A　DVD-V　VCD

静止（一時停止）中

リモコン
押す
スロー/サーチ

または

本体
押し続ける
⏮/◀◀　▶▶/⏭

[◀◀][⏮/◀◀]：戻る（RAM　DVD-A　DVD-V）
[▶▶][▶▶/⏭]：進む

- [▶]（再生）を押すと、通常再生になります。
- リモコンでは押すたびに、本体では押し続けると速くなります。（5 段階）
- DVD オーディオでは、動画部でのみスロー再生ができます。

■ 早送り／早戻し、スロー再生、スキップについて
PBC 付ビデオ CD のメニュー再生中は、[⏮、⏭]、[⏮/◀◀、▶▶/⏭] や [◀◀、▶▶] を押すと、メニュー画面に戻ることがあります。

コマ送り・コマ戻し

RAM DVD-A DVD-V VCD

静止（一時停止）中

リモコン

ジョイスティック[◄、►]を倒す

[◄]：戻る（RAM DVD-A DVD-V）
[►]：進む

- **[►]（再生）**を押すと、通常再生になります。
- 倒すたびに 1 コマずつ送り（戻し）、倒し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。
- **[❚❚]**を押してもコマ送りできます。
- DVD オーディオでは、動画部でのみコマ送り・コマ戻しできます。

静止画を選ぶ（ページスキップ）

DVD-A

静止画付きの DVD オーディオでは、お好みの画像を選ぶことができます。

再生中

リモコン

押す
ページ

ページ 1

押すたびにページが切り換わります。

番組・場面・曲を飛びこす（スキップ）

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

再生中／静止（一時停止）中

リモコン 押す スキップ ⏮ ⏭　または　本体 押す ⏮/◀◀ ▶▶/⏭

[⏮][⏮/◀◀]：戻る
[⏭][▶▶/⏭]：進む

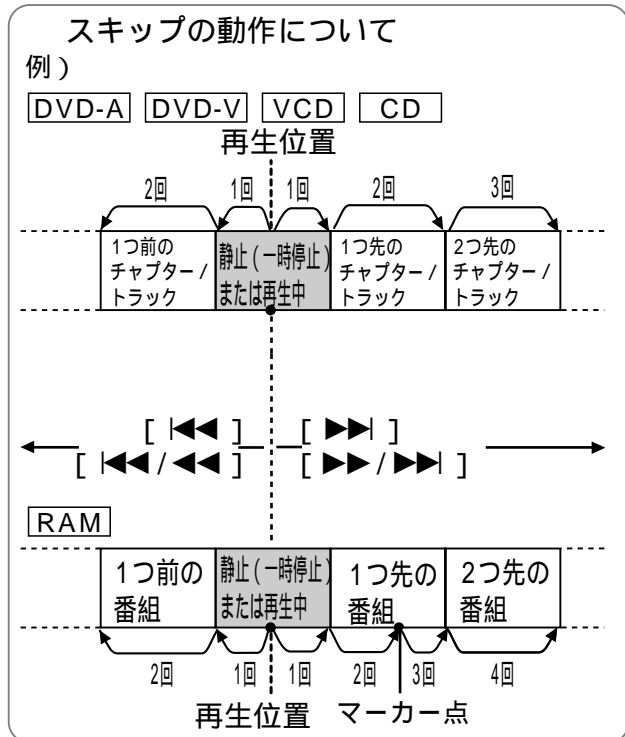
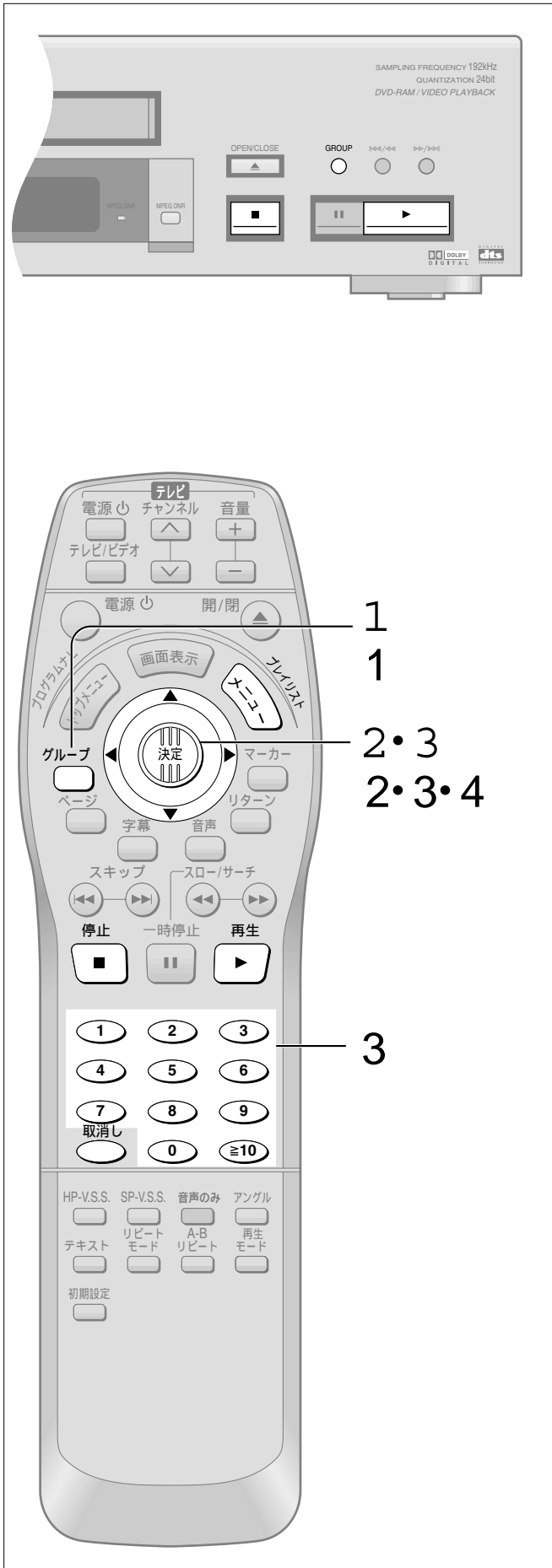
押した回数だけスキップします。

お知らせ

RAM

- マーカーが記録されている場合は、マーカー位置へスキップします。
- プレイリストを使って再生している場合、シーンの開始点までスキップします。

■ **スキップの動作について**

例）

ディスクを再生する（つづき）

番組・場面・曲を番号指定で再生する

RAM **DVD-A** **DVD-V** **VCD** **CD**

停止中

リモコン

押す

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0 ≧10

選んだ番組（DVD-RAM）／タイトル／トラックから再生が始まります。（PBC 付ビデオ CD の場合 ☞ 下記※）

- **2 ケタの数字を入力するには**
  例）23 を入力する
  [≧10] を押し、**[2]**、**[3]**
  と続けて押す

- DVD オーディオの場合、別グループのトラックを選ぶときは、まずグループ番号を指定してください。（☞ 次ページ）
- DVD-RAM、DVD オーディオ、カラオケ DVD、ビデオ CD、CD の場合は再生中でも働きます。
- ディスクや再生状態によって働かないことがあります。

※ PBC 付ビデオ CD の場合

メニュー再生を解除してから操作してください。

1 再生中、表示窓の “ **PBC Play** ” が消えるまで **[■]** を押す

2 **数字ボタン**を押す

- メニュー再生に戻すには、**[■]** を押したあと **[メニュー]** を押してください。
  表示窓に **“ PBC Play ”** が点灯します。

グループを選んで再生する

DVD-A

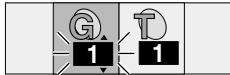
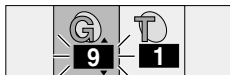
グループについて
DVD オーディオディスクの曲構成はグループ単位で分かれています。
各グループがどのように再生されるかはディスクによって異なりますので、ディスクのジャケットなどをご参照ください。

1 **リモコンの**
[グループ]を押す

2 **ジョイスティック［▲、▼］で**
グループ番号を選び、[決定]を押す

3 **ジョイスティック［▲、▼］で**
トラック番号を選び、[決定]を押す
選んだグループのトラックが再生されます。

- グループ番号はリモコンの**数字ボタン**や本体の**[GROUP]**でも選ぶことができます。
[▶］（再生）を押すと、選んだグループの再生が始まります。

お知らせ

再生状態によっては、グループが選べないこともあります。

■ オールグループを再生するには

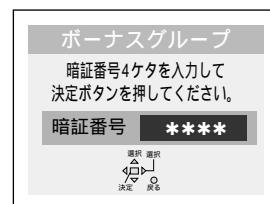
１つのグループだけではディスク内の全曲が再生できないようなディスクの場合に行います。（☞17ページ）

ボーナスグループを再生する

ディスクによっては、暗証番号を入力することで再生が可能になる「ボーナスグループ」を収録したものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

1 停止中、**リモコンの**
[グループ]を押す

2 **ジョイスティック［▲、▼］で**
ボーナスグループを選び、[決定]を押す
例）ボーナスグループがグループ 9 に入っているとき

3 **リモコンの数字ボタンで**
暗証番号（4 ケタ）を入力し、[決定]を押す

4 **ジョイスティック［▲、▼］で**
トラックを選び、[決定]を押す

- メニュー画面で暗証番号を入力する場合もあります。そのときは画面の指示に従ってください。
- いったん暗証番号を入力すると、ディスクを取り出すまで何度も再生できます。

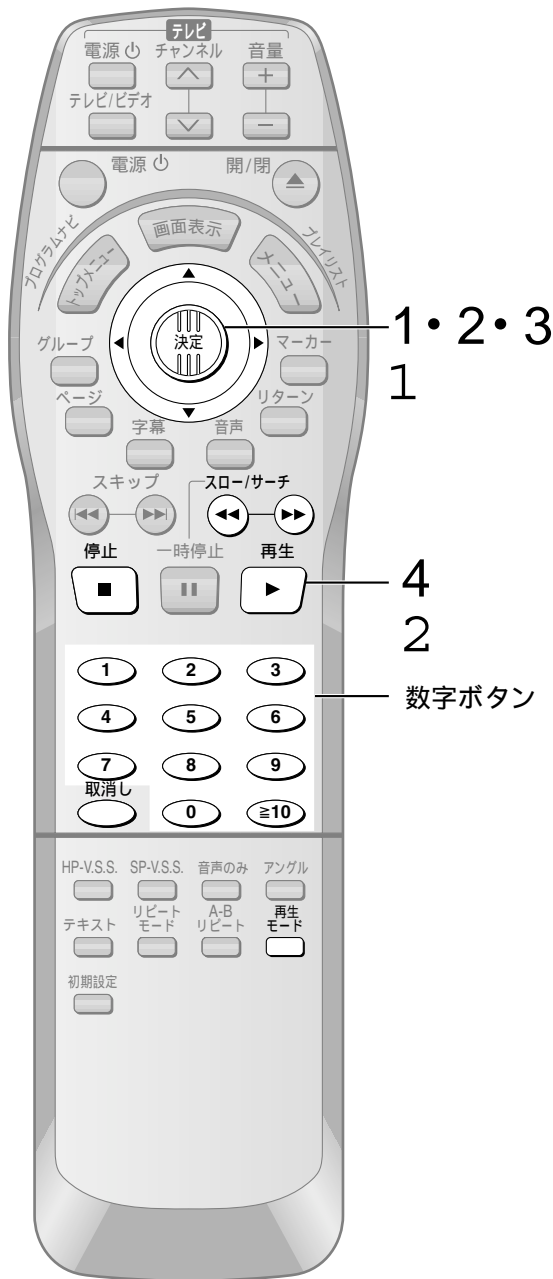
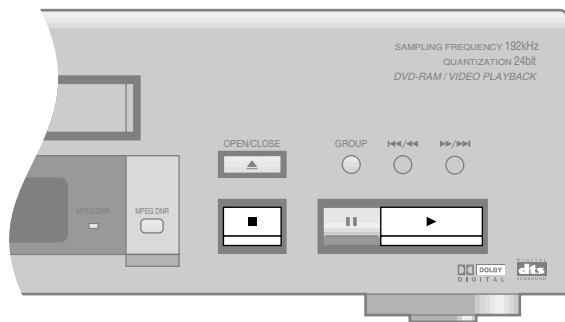
お知らせ

- 暗証番号を間違えて入力した場合は、元の画面に戻ります。もう一度最初から行ってください。
- 入力中に暗証番号を間違えた場合は、リモコンの**［取消し］**を押してください。

いろいろな再生を楽しむ

1・2・3
1

4
2

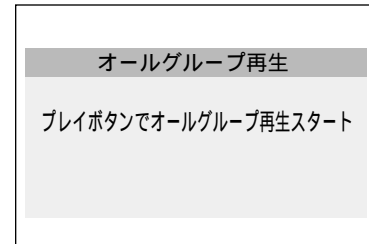
数字ボタン

停止中

リモコン

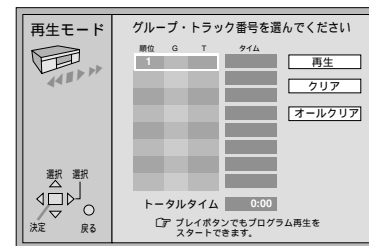
押して
再生の種類を切り換える

- ボタンを押すたびに切り換わります。

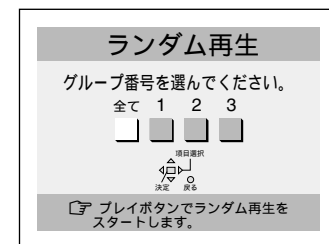
例）DVD オーディオの場合

A オールグループ画面：

全てのグループを順に再生する

↓

B プログラム画面：

好みの順に再生する（最大 32 トラック）

↓

C ランダム画面：

順不同に再生する

↓

通常再生に戻る

それぞれの画面を表示して 17 ページの操作を行うと、選んだ再生モードで再生が始まります。

お知らせ

プログラム／ランダム画面で DVD オーディオの「ボーナスグループ」を選んだときは、暗証番号（4 ケタ）を入力してください。（☞15 ページ）

A 全てのグループを順に再生する（オールグループ再生）

DVD-A **[▶]（再生）を押す**

B 好みの順に再生する（プログラム再生）

DVD-A VCD CD

1 ジョイスティック[決定]を押す

例）DVD オーディオ

2 （DVD オーディオのみ）

ジョイスティック[▲、▼]で
グループを選び、[決定]を押す

3 ジョイスティック[▲、▼]で トラックを選び、[決定]を押す

- **ジョイスティック[▲、▼]**を操作するたびに
  1⟷2←- - - -→ALL（全曲予約）

  必要なだけ手順 1 ～ 3 を繰り返してください。
- “ ALL ” を選ぶと全曲（DVD オーディオの場合はグループ内の全曲）が予約されます。

4 [▶]（再生）を押す

お知らせ

- リモコンの**数字ボタン**でグループやトラックを選ぶこともできます。
- 予約は、電源を切るかディスクトレイを開けるまで保持されます。

■ プログラム再生中に予約内容を変更するには

[■]を数回押す
プログラム画面が表示されます。それぞれ以下の操作を行なってください。

<予約を追加・変更する>
1 **ジョイスティック[▲、▼]**で項目（順位）を選ぶ
2 手順 **1** から **3** の操作を繰り返す

<予約を 1 つずつ取消す>
1 **ジョイスティック［▲、▼］**で取消す項目（順位）を選ぶ
2 **[取消し]**を押す
- **ジョイスティック［▲、▼、◀、▶］**で **“ クリア ”** を選び**[決定]**を押しても取消せます。

<プログラム画面のページを前後に移動する>
[◀◀]または**[▶▶]**を押す

<予約を全て取消す>
1 **ジョイスティック［▲、▼、◀、▶］**で **“ オールクリア ”** を選ぶ
2 **[決定]**を押す

C 順不同に再生する（ランダム再生）

DVD-A VCD CD

1 （DVD オーディオのみ）

ジョイスティック[◀、▶]で
グループを選び、[決定]を押す

例） DVD オーディオ（グループが 3 までであるディスク）

- 複数選べます。
- リモコンの**数字ボタン**で選ぶこともできます。

2 [▶]（再生）を押す

■ 選んだグループを取消すには DVD-A

1 **ジョイスティック[◀、▶]**で取消すグループを選ぶ
2 リモコンの**[取消し]**または**[決定]**を押す
- リモコンの**数字ボタン**で取消す番号を入力しても取消すことができます。

いろいろな再生を楽しむ（つづき）

2

1・2

1・2

数字ボタン

好みの位置を記憶させる（マーカー）

再び見たい（聞きたい）箇所にマークを付けておくと、後でそこから再生することができます。

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

1 リモコンの

[マーカー]を押す

2 マークしたいところで

[マーカー]を押す

- 2 つ目以降は、まず**ジョイスティック [▶]**を倒してください。

RAM（マーカーは 999 個まで順番に付けられます。）

1 リモコンの

[マーカー]を押す

マーカーアイコンが表示されます。

- レコーダーなどでマーカーを記録したディスクを入れている場合、ディスクに記録されているマーカー番号が表示されます。

2 **ジョイスティック[▶]**を倒して“ ＊ ”を選んでから、マークしたいところで

[マーカー]を押す

■ **11 個以上マークを付ける場合**

マーカーアイコン表示中、まず 10 番台の数字を選びます。

1 ジョイスティック[◀、▶]で
マーカーピンアイコンをハイライトさせる

マーカーピンアイコン

2 ジョイスティック[▲]で 11 ～ 20 を選ぶ

- 10 個マークが付いた時点で、次の 10 番台が選べます。

■ **マーカー画面を消すには**

[リターン]を押す

■ **マークした位置から再生するには**

ジョイスティック[◀、▶]でマーク番号を選び、**[決定]**を押す

■ **マークを取消すには**

ジョイスティック[◀、▶]でマーク番号を選び、**[取消し]**を押す

- **レコーダーなどで RAM ディスクに記録したマーカー**も、取り消すことができます。ただし、この取り消したマーカーは電源を切るか、ディスクトレイを開け、再度ディスクを入れると再度表示されます。

お知らせ

- プレイリスト再生時（DVD-RAM）や、再生中表示窓に経過時間が表示されないときは、マーカー機能は働きません。
- **本機で付けたマーカー**は、電源を切るか、ディスクトレイを開けると取り消されます。

RAM

- マーカー番号はディスクの時間経過順に並べ替えられます。追加や取り消しを行うと、付けたときの番号と、呼び出したときの番号が異なることがあります。

繰り返し再生する（リピート再生）

再生中

リモコン

押す

リピートモード

ボタンを押すたびに切り換わります。

例）DVD ビデオ

- **DVD-RAM**
  PG：番組
  A：ディスク全体
  切：通常再生

  <プレイリスト再生時>
  S：シーン
  PL：プレイリスト※1
  切：通常再生
- **DVD オーディオ／ビデオ CD**※2**／CD**
  T：トラック
  A：オール (ディスク全体)/
  G※3：(グループ全体) DVD-A
  切：通常再生
- **DVD ビデオ**
  C：チャプター
  T：タイトル全体
  切：通常再生

※**1** プレイリストのシーン再生中は表示されません。

※**2 PBC 付ビデオ CD の場合**

メニュー再生を解除してから操作してください。

1 再生中、表示窓の "**PBC Play**" が消えるまで**[■]**を押す

2 数字ボタンでトラックを選び再生を始める

3 [リピートモード]を押す

- メニュー再生に戻すには、**[■]**を押したあと**[メニュー]**を押してください。表示窓に "**PBC Play**" が点灯します。

※**3** DVD オーディオのオールグループ／プログラム／ランダム再生時は "G" ではなく "A" と表示されます。

■ お好みのトラックをリピート再生するには

（プログラムリピート再生） DVD-A VCD CD

1 お好みのトラックを予約する（☞17 ページ）

2 プログラム再生中に**[リピートモード]**を押し、 または を表示する

好みの場所を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

同一番組、タイトル、トラック内でお好みの 2 点（A 点と B 点）を指定して、その 2 点間を繰り返し再生することができます。

例）

再生中

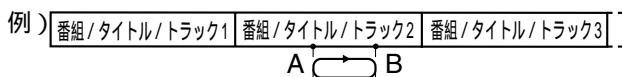
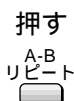
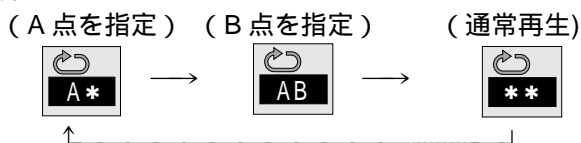
リモコン

押す

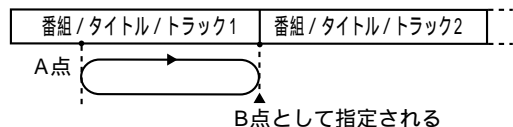
A-B リピート

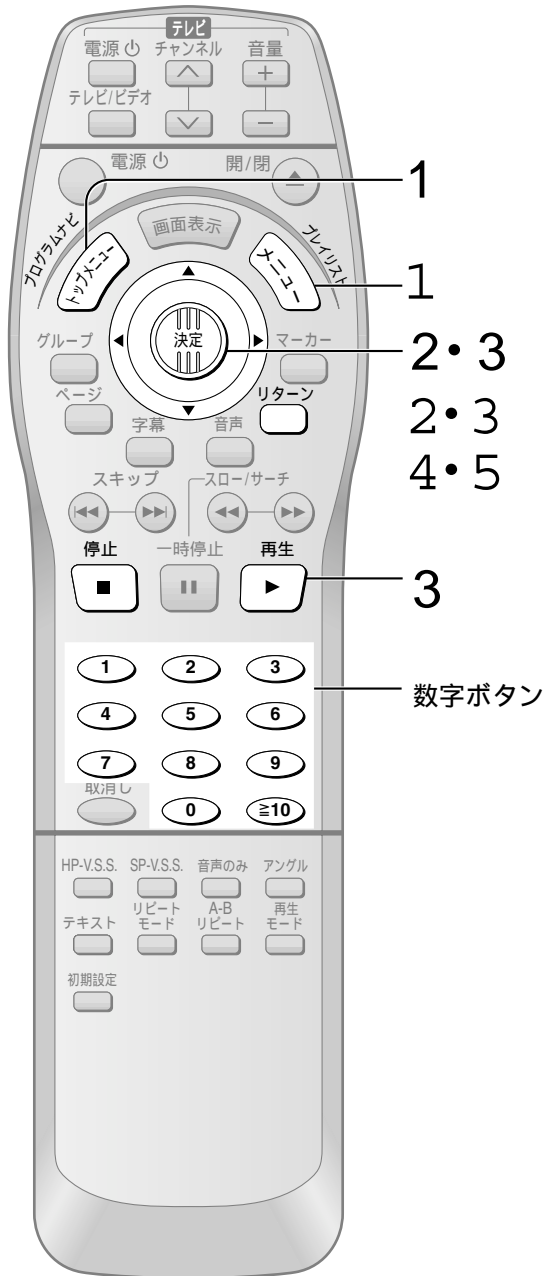
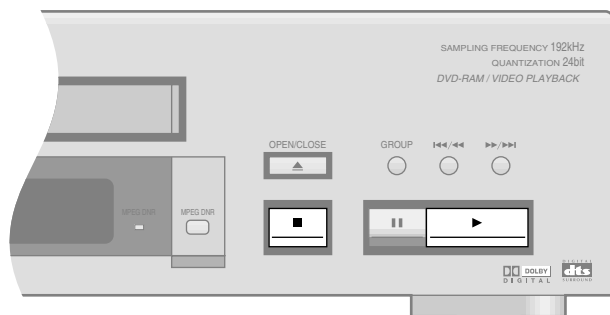
押すたびに

（A 点を指定） → （B 点を指定） → （通常再生）

A＊ → AB → ＊＊

B 点を指定すると、A-B リピート再生が始まります。

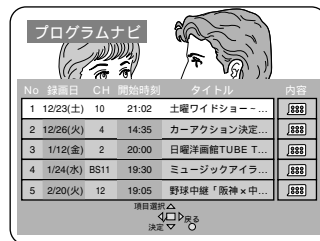
お知らせ

- ディスクによっては、リピート／ A-B リピート再生が働かないものもあります。
- ディスク全体の繰り返し（DVD ビデオ）や、全てのプレイリスト（DVD-RAM）をリピート再生することはできません。
- A-B リピート再生の B 点を指定する前に番組／タイトル／トラックが終わったときは、その終点が B 点として指定されます。

- A 点と B 点の前後では、字幕が表示されないことがあります。

RAM ディスクの番組を再生する

番組を選んで再生する（プログラムナビ再生）

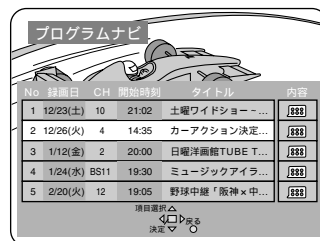
ディスクに番組リストが記録されている場合、このリストを利用して、見たい番組を探し出して再生することができます。

1 リモコンの
[プログラムナビ]を押す

（番組リスト画面が表示されます。）

- リスト背景では、選択した番組が再生されます。

2 ジョイスティック[▲、▼]で
見たい番組を選ぶ

例) 番組 " 2 " を選んだとき

- リモコンの**数字ボタン**で番組を選んだ場合、手順 3 は不要です。

- 2 ケタの数字を入力するには

例） 17 を入力する：**[≧10]** を押し、**[1]**、**[7]** と続けて押す

3 [▶]（再生）またはジョイスティック[決定]を押す

（リスト背景で再生していた続きから再生されます。）

■ 番組リスト画面を消すには

[プログラムナビ]を押す
（番組リスト画面を呼び出した時の画面に戻ります。）

■ 選んだ番組の情報を見るには

1 番組を選ぶ（上記手順 1、2）
2 ジョイスティック[▶]で右端の「内容」欄を選び、**ジョイスティック[決定]**を押す
［画面背景は静止（一時停止）状態になります。もう一度**[決定]**を押すと、番組リスト画面に戻ります。］

■ 番組が 6 以上あるときは

ハイライトが番組 5 にあるときに**ジョイスティック[▼]**を倒す。（続けて倒すと、それ以降の番組リストが表示されます。）

お知らせ

- 番組にタイトルが記録されていない場合やディスクにディスク名が記録されていない場合、タイトル／ディスク名は表示されません。
- 本機では、タイトルやディスク名の変更はできません。

好みのシーンだけを再生する（プレイリストメニュー再生）

ディスクにプレイリスト（お好みのシーンを集めたリスト）が記録されている場合、見たいシーンを探して再生することができます。

1 **リモコンの**
[プレイリスト]を押す
（プレイリスト画面が表示されます。）

2 **ジョイスティック[▲、▼]で**
お好みのプレイリストを選ぶ

- 続けて**ジョイスティック[決定]**を押すか、**数字ボタン**でプレイリストを選ぶと、選んだプレイリストの全シーンを初めから順番に再生することができます。

3 **ジョイスティック[▶]**で右端の「内容」欄を選び
[決定]を押す

4 **ジョイスティック[▲、▼]**で“シーン一覧”を選び、
[決定]を押す

5 **ジョイスティック[▲、▼、◀、▶]で**
お好みのシーンを選び、[決定]を押す
（選択したシーンの再生が始まります。）

- シーンの表示がないところへハイライト表示を動かすことはできません。
- シーンが 9 つ以上ある場合、**ジョイスティック[▲、▼、◀、▶]**で「次ページ」を選び、**[決定]**を押すと、次のシーン一覧が表示されます。
「前ページ」を選ぶと 1 つ前のシーン一覧が表示されます。
- リモコンの**数字ボタン**でもシーン一覧ページを選ぶことができます。（ページ番号が画面右上に表示されます。）

数字を入力するには
例）17 を入力する：**[1]**、**[7]**、**[決定]**と続けて押す
例）111 を入力する：**[1]**、**[1]**、**[1]**、**[決定]**と続けて押す

■ 選んだプレイリストの情報を見るには

1 プレイリストを選ぶ（上記手順 1、2）
2 **ジョイスティック[▶]**で右端の「内容」欄を選び、**[決定]**を押す。
3 **ジョイスティック[▲、▼]**で「番組内容確認」を選び、**[決定]**を押す。

■ 再生が終了したら

プレイリスト再生時は、プレイリスト画面（手順 1）に、シーン再生時は、シーン一覧画面（手順 4）に戻ります。

■ ひとつ前の画面に戻るには

[リターン]を押す

■ 画面表示を消すには

[プレイリスト]を押す
（プレイリスト画面を呼び出した時の画面に戻ります。）

■ プレイリストメニュー再生をやめるには

[■]を数回押して、画面表示を消す

AUDIO ONLY
MPEG DNR
RE-MASTER

ジョイスティック
[▲、▼、▶]／[決定]

数字ボタン

2 本のスピーカーやヘッドホンでサラウンド効果を楽しむ（ADVANCED SURROUND V.S.S.）

（アドバンスト サラウンド）

RAM **DVD-V** **VCD**

スピーカー V.S.S.：ドルビーデジタル/DTS/MPEG/LPCM 2ch 以上のディスク
ヘッドホン V.S.S.：ドルビーデジタル/MPEG/LPCM 2ch 以上のディスク

音に広がりを与え、フロントスピーカー（L ／ R）やヘッドホンだけでサラウンド効果を楽しむことができます。
サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

V.S.S.：バーチャル・サラウンド・サウンド

準備

接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。

再生中

リモコン

押す
SP-V.S.S.

スピーカー V.S.S.

または

リモコン

ヘッドホン V.S.S.

押すたびにレベルが切り換わります。
例）スピーカー V.S.S.の場合

（標準）

→ SP 2 （強）

→

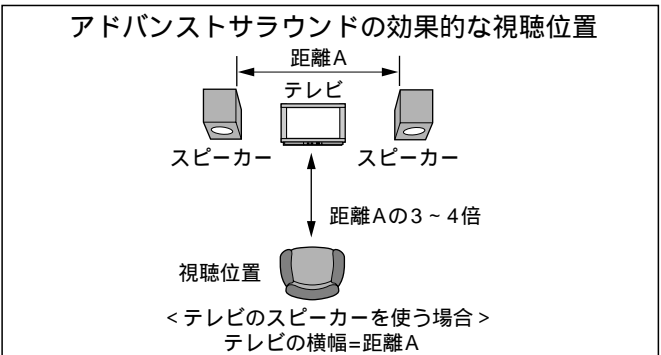
（切）

お願い

音声がひずむ場合は**「切」**にしてください。

お知らせ

- レベルを「1」や「2」に設定しても、ディスクによってはサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- アドバンストサラウンドが働いているときはフロントスピーカーからしか音声は出力されません。

アドバンストサラウンドの効果的な視聴位置

音声を切り換える

RAM DVD-A DVD-V

再生中

リモコン

押す 音声

例）DVD オーディオ

再生中の音声番号

選んだ音声番号

押すたびに切り換わります。
（音声が記録されていないときは“ — ”と表示）

- DVD-RAM/DVD オーディオ（動画部分以外）では、音声が切り換わると、静止画表示中に流れる音の先頭に戻ります。
- 選んだ音声番号は DVD オーディオの場合、2 つ目の音声がなくても通常、番号 2 まで表示します。（再生中の音声番号は 1 のままです。）
- カラオケディスクでは、ボーカルの「入」「切」ができます。詳しくはディスクのジャケットなどもご覧ください。

字幕言語を切り換える

RAM DVD-A DVD-V

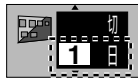
DVD-RAM ：字幕の「入」「切」のみできます。

再生中

リモコン

押す 字幕

押すたびに切り換わります。（字幕が記録されていないときは“ — — ”と表示）

例）DVD ビデオ

- 変更後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

■ 字幕を「入」「切」するには

1 **[字幕]**を押す
2 （DVD オーディオ/DVD ビデオのみ）
 ジョイスティック[▶]を倒す
3 **ジョイスティック[▲、▼]**で「入」「切」を選ぶ

アングルを切り換える

DVD-A DVD-V

再生中

リモコン

押す アングル

押すたびに番号が切り換わります。

あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。詳しくはディスクのジャケットなどもご覧ください。

より高音質で聴く（AUDIO ONLY（オーディオ オンリー））

RAM DVD-A DVD-V VCD CD

映像信号の出力を止め、音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。

リモコン

押す 音声のみ

または

本体

押す AUDIO ONLY

本体のランプが点灯します。

- 再度、ボタンを押すか、電源を切ると解除されます。（ランプが消灯します。）

CD をよりよい音で聴く(RE-MASTER（リマスター）)

CD

CD の音質を向上させます。

本体

押す RE-MASTER

押すたびに切り換わります。
リマスター回路の動作中は、本体のランプが点灯します。

1 ： テンポの速い曲（例、ポップス・ロックなど）
2 ： さまざまなテンポの曲（例、ジャズなど）
3 ： テンポの遅い曲（例、クラシックなど）
OFF ： リマスター切

- デジタル接続している場合は、接続機器がサンプリング周波数 88.2 kHz 以上に対応し、初期設定「デジタル出力」で“ 入 (RE-MASTER 入) ” (☞32 ページ)に設定している場合のみ、この機能が働きます。

きれいな映像を楽しむ(MPEG DNR（エムペグ デジタルノイズリダクション）)

RAM DVD-A DVD-V VCD

3D-NR/ブロック NR/モスキート NR(☞27 ページ)を、本機が推奨する設定値で同時に働かせます。

本体

押す MPEG DNR

MPEG DNR が働いているとき、本体のランプが点灯します。

- MPEG DNR とユーザー画質（U2）を同時に働かすことはできません。ユーザー画質で 3D-NR/ブロック NR/モスキート NR を調節するときは、MPEG DNR を「切」にしてください。

■ 音声／字幕／アングルの画面表示を消すには

[リターン]を押す

■ “⃠”がテレビ画面に表示されたときは

ディスクに記録されていない音声／字幕／アングル番号を選んでいるため入力できません。

■ オーディオオンリー機能について

停止時や早送りなどの操作時は、映像信号が送られます。それ以外は、映像信号が出ないためテレビ画面は少し乱れた状態になります。

お知らせ

- **ジョイスティック [▲、▼]**や**数字ボタン**で音声／字幕／アングル番号を選ぶこともできます。
- アイコンの“ △、▽ ”マークは、**ジョイスティック [▲、▼]**で変更できることを示します。一つしか音声／字幕／アングルが記録されていない場合は、“ △、▽ ”マークは表示されません。
- メニュー画面でのみ音声／字幕／アングルの切り換えができるディスクもあります。
- 最初から好みの言語で聞きたい／見たい場合は、音声／字幕言語の設定を行ってください。(“ ディスク ” ☞32 ページ)

絵表示（GUI画面）を使って操作する

GUI（Graphical User Interface）とは

（ジー・ユー・アイ　グラフィカル・ユーザー・インターフェース）

「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合はディスクや本機の情報などを表示する画面を「GUI画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更できます。

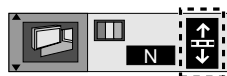
■ 画面表示を消すには

GUI画面が消えるまで**[リターン]**を押す

■ GUI画面の位置を変えるには

1 ジョイスティック［◀、▶］
で右端のアイコンを選ぶ

2 ジョイスティック［▲、▼］
でGUI画面の位置を変える（5段階）

例）

お知らせ

- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態（停止中など）によっては操作できないものがあります。

GUI画面の操作方法

1 ［画面表示］を押す

（GUI画面が表示されます。）
- 押すたびに切り換わります。

例）DVDビデオの場合

<ディスク情報画面>（☞25ページ）

↓

<本機情報画面>（☞26ページ）

↓

<シャトル画面>（☞25ページ）

GUI表示なし

2 （本機情報画面のみ）

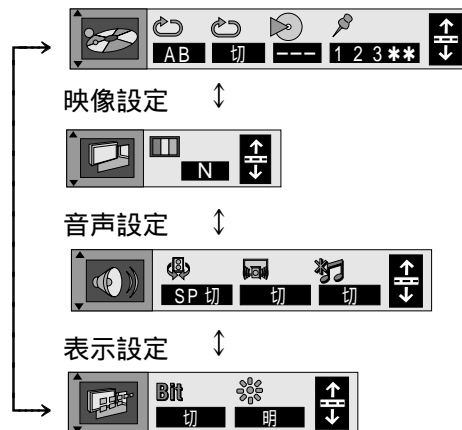
ジョイスティック［◀、▶］でハイライトを左端のアイコンに移動し、**ジョイスティック［▲、▼］で**
メニューを選ぶ

ジョイスティック[▲、▼]を倒すたびに

再生設定

映像設定 ↕

音声設定 ↕

表示設定 ↕

3 ジョイスティック［◀、▶］で 項目を選ぶ

内容については25～27ページをご覧ください。
シャトル画面の場合、この手順は不要です。

4 ジョイスティック［▲、▼］で 内容を変更する

変更が実行されないときは、**ジョイスティック[決定]**を押してください。
数字ボタンで変更できるものもあります。

ディスク情報画面の表示例

例）DVD ビデオの場合

アイコン	内容
PG 2	**プログラム番号** RAM
PL 2	**プレイリスト番号** RAM
G 2	**グループ番号** DVD-A
T 2	**タイトル番号** DVD-V **トラック番号** DVD-A VCD CD
C 2	**チャプター番号** DVD-V
1:46:50	**経過時間** DVD-A DVD-V （**番組経過時間：**RAM） **数字ボタン**で指定した時間から再生 例)1 時間 46 分 50 秒から再生するとき **[1]→[4]→[6]→[5]→[0]→ジョイスティック[決定]**を押す **時間表示** DVD-A VCD CD 内容変更はできません。 →トラックの経過時間 ↕ トラックの残り時間 ↕ →ディスクの残り時間
L R	**音声チャンネル** RAM VCD チャンネルを選ぶとその音声で再生 LR ←→ L ←→ R (左右)　(左)　(右)

アイコン	内容
Digital 1 日 3/2.1 ch	**音声言語** DVD-A DVD-V （☞ 下記 ⓐ） 番号を選ぶとその音声で再生
Digital 1 日 3/2.1 ch	**音声属性** RAM DVD-A DVD-V （☞ 下記 ⓑ）
Vocal 1 ＊ 切	**カラオケボーカル「入」「切」** DVD-A DVD-V（カラオケ DVD のみ） **ソロ：**切↔入 **デュエット：** 切↔ V1 + V2 ↔ V1 ↔ V2
入 1 日	**字幕番号** DVD-A DVD-V 番号を選ぶとその字幕を表示 （☞ 下記 ⓐ）
入 1 日	**字幕「入」「切」** RAM DVD-A DVD-V 字幕を「入」「切」する
1	**アングル番号** DVD-A DVD-V 番号を選ぶとそのアングルで再生
PBC 入	**メニュー再生の「入」「切」表示** （PBC 付 VCD ☞39 ページ） 内容変更はできません
Page 1	**静止画番号** DVD-A 番号を選ぶとその画像で再生

ⓐ 音声／字幕言語

日：日本語	**伊：**イタリア語	**露：**ロシア語
英：英語	**西：**スペイン語	**韓：**韓国語
仏：フランス語	**蘭：**オランダ語	**＊：**その他
独：ドイツ語	**中：**中国語	

ⓑ 音声属性

LPCM/PPCM（パック PCM/
Digital/DTS/MPEG：信号タイプ
k (kHz)：サンプリング周波数
b (bit)：ビット数
ch：チャンネル数

シャトル画面の表示例

アイコン	内容
❚❚	**静止／一時停止**
◀❙ ❙▶	**スロー再生** ◀❙：戻る RAM DVD-A DVD-V ❙▶：進む RAM DVD-A DVD-V VCD
▶	**再生**
◀◀ ▶▶	**早戻し／早送り** ◀◀：戻る　▶▶：進む

お知らせ

- 早送り／早戻し、スロー再生の速度は 5 段階あります。
- シャトル画面両端の数値は早戻し／早送りの最大速度を表示しています。
- ディスクによって操作できないものもあります。
- DVD オーディオのスロー再生は、動画部でのみ可能です。

本機情報画面の表示例

再生設定

アイコン	内容
AB	**A-B リピート再生**（☞19 ページ） RAM DVD-A DVD-V VCD CD 再生中**[決定]**を押すたびに A 点を指定 → B 点を指定 → 通常再生
切	**リピート再生**（☞19 ページ） RAM **PG**（プログラム） **A**（ディスク全体） **切**（通常再生） <プレイリスト再生時> **S**（シーン） **PL**（プレイリスト）**切**（通常再生） DVD-V **C**（チャプター） **T**（タイトル） **切**（通常再生） DVD-A VCD CD **T**（トラック） **A**（ディスク全体）／**G**（グループ全体） **切**（通常再生）
---	**再生モード表示** DVD-A VCD CD 内容変更はできません。 **RND**：ランダム再生 **PGM**：プログラム再生 **---**：通常再生 **ALL**：オールグループ（DVD-A）

アイコン	内容
DVD-A DVD-V VCD CD 1 2 3 ✱✱ RAM Marker	**マーカー** もう一度再生したいところにマークを付ける（☞18 ページ） DVD-A DVD-V VCD CD: 最大 5 カ所 RAM：最大 999 カ所 再生中、**ジョイスティック[決定]**を押し、マークを付けたいところでもう一度押す ● **複数のマークを付けるには** **ジョイスティック［▶］**を倒し、マークを付けたいところで**[決定]**を押す（RAM ☞18 ページ） ● **マークを呼び出すには** **ジョイスティック[◀、▶]**でマークを選び**[決定]**を押す ● **マークを取消すには** **ジョイスティック[◀、▶]**でマークを選び**[取消し]**を押す

音声設定

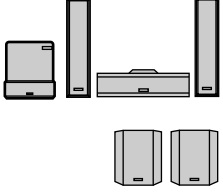
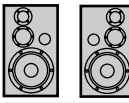
アイコン	内容
SP 切	**アドバンストサラウンド** V.S.S. （☞22 ページ） RAM DVD-V VCD ● **スピーカー V.S.S.(SP-V.S.S.)** ドルビーデジタル/DTS/MPEG/LPCM 2ch 以上のディスク ● **ヘッドホン V.S.S.(HP-V.S.S.)** ドルビーデジタル/MPEG/LPCM 2ch 以上のディスク V.S.S.レベル **SP 1/HP 1**：標準 **SP 2/HP 2**：強 **SP 切/HP 切**：V.S.S.解除
切	**ダイアログエンハンサー「入」「切」** DVD-V（ドルビーデジタル／DTS 3ch 以上のディスク） 「入」を選ぶとセンターチャンネルのセリフの音量が上がる
切	**リマスター** CD（☞23 ページ） **1** ⟷ **2** ⟷ **3** ⟷ **切**

表示設定

アイコン	内容
Bit 切	**ビットレート表示** RAM DVD-V VCD **「入」** ⟷ **「切」** 映像の種類（I／P／B ☞38 ページ）とビットレートを表示する（値は目安です） 動画再生時：再生画像の平均ビットレート 静止時：フレームのデータ量
明	**FL ディマー** 本体表示窓の明るさを調節する **明** ⟷ **暗** ⟷ **オート**※ ※ 再生中には暗くなり、本体のランプ類も消灯します。一時停止などの操作をすると、一時的に明るくなり、ランプも点灯します。

映像設定

アイコン		内容
	お知らせ ※U3とU4の設定は、プログレッシブ出力ランプが点灯中のみ可能です。(☞10ページ) ●プログレッシブ出力ランプが点灯中はN/S/F/Cモードにおいても U4 の設定が可能です。	**画質モード** RAM DVD-A DVD-V VCD **N**：通常画質 **S**：ソフト画質（ざらつきの少ない柔らかな画質） **F**：ファイン画質（輪郭の強調されたクッキリした画質） **C**：シネマ画質 （映画鑑賞に適した画質） **U1/U2/U3**※**/U4**※:ユーザー画質 **■ ユーザー画質を調節するには** **1 ジョイスティック[▲、▼]**で**ユーザー画質モード**を選び、**ジョイスティック[▶]**を倒す **2 ジョイスティック[▲、▼]**で**1～4**を選ぶ **3 ジョイスティック[◀、▶]**で変更したい項目を選ぶ **4 ジョイスティック[▲、▼]**で数値を変更する
U1（よく使う映像の調節）		**Contrast**（－7～＋7） 映像の白い部分と黒い部分に強弱をつける
		Brightness（0～＋15） 画面全体を明るくする
		Sharpness(－6～＋6) 映像の水平方向の鮮鋭度（解像感）を調節する
		Color（－7～＋7） 色の濃さを調節する
		Gamma（0～＋5） 映像の中間明度を強調し、暗くて見えにくい場面でも輪郭を忠実に再現する
U2（ノイズを抑える）		**3D-NR**（0～＋4） 画面全体のノイズを取り除く
		Block NR（0～＋3） 動画に見られるモザイク状のノイズを取り除く
		Mosquito NR（0～＋3） 文字の周辺など、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見える、もやのようなノイズを取り除く

■ ユーザー画質について

- ユーザー画質の設定はディスクごとに記憶されます（最大200枚）。記憶させたディスクを次に再生する時、ユーザー画質モードを選ぶと、記憶された内容でディスクを再生できます。
- 設定後、他の画質モード（N/S/F/C）を選び、ディスクを取り出したり本体の電源を切ると設定は記憶されません。
- 初めて再生するディスクには直前の設定が適用されます。

アイコン		内容
※**U3**（画像の際立ちを調節）		**High sharpness**（－6～＋6） 映像の水平方向の鮮鋭度（解像感）を細かな部分まで調節する
		V sharpness（－1～＋2） 映像の垂直方向の鮮鋭度（解像感）を高める
		Edge（0～－3） 映像の際立ちを補正し、奥行き感を出す
		TINT（－15～＋15） 映像全体の色相を変化させる
※**U4**（素材の特徴を生かす）		**Transfer MODE** プログレッシブ出力に変換する方式を素材（☞39ページ）に応じて使い分ける。 ●**Auto1(標準):** 映画再生に適した変換 ●**Auto2**：映画再生に適した変換（Auto1の変換方法に加え、30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応。） ●**Auto3**：アニメ再生に適した変換（30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応。） ●**Video**：ビデオ素材に適した変換
		4：3 ASPECT 画面の横縦比が16：9のプログレッシブテレビに接続したとき、映像を適正な画面比にする。 ●**Nor.(標準)**：テレビの画面幅いっぱいに映す ●**Auto:** 4：3レターボックスの映像をフル、または、画面両端に黒帯を付けて映す ●**Shr.(シュリンク)**：テレビ画面中央に4：3の画面比にして映す ●**Zoom**：4：3レターボックスの映像が「Nor.」や「Auto」ではテレビの画面幅いっぱいに表示できない時に選ぶ
		Shift Position（0～＋15） 字幕の位置を調節する (“4：3 ASPECT”の「Auto」または「Zoom」でフル画面になったときに効果があります。)
		Output 色調や輝度を変化させる ●**Nor.（標準）**：通常の映像 ●**Sepia**：セピア色の映像 ●**Mono (モノクロ):** 白黒の映像 ●**Nega**：写真ネガのように輝度と色を反転させた映像

より迫力ある音声で楽しむ

本機はドルビーデジタル／DTSデコーダーを内蔵しています。（☞38ページ）
別売のドルビーデジタルデコーダーやDTSデコーダーがなくても、AVアンプの5.1ch音声入力端子に接続すると、ドルビーデジタル／DTSで記録されたDVD再生時、映画館やホールにいるような臨場感と迫力ある音声をご家庭で楽しめます。**192 kHzや96 kHzの高音質を楽しみたいときは、アナログ接続してください。デジタル接続すると、著作権保護のため48 kHzに変換しないと音声がでません。**

こんなときは	こんな方法があります	参照ページ	設定内容	参照ページ
5.1chサラウンドサウンドを楽しむ	**＜アナログ接続＞** AVアンプ（5.1ch音声入力端子付）と接続する	29 **A**	“スピーカー設定”⇒“マルチチャンネル”に設定	35
	＜デジタル接続＞ AVアンプ（デコーダー内蔵タイプまたはデコーダーとAVアンプの組み合わせ）と接続する	29 **B**	● デジタル出力、PCMダウンサンプリング変換/Dolby Digital/DTS Digital Surround⇒接続する機器に合わせて設定	36
			スピーカーの設定は、AVアンプまたはデコーダーで行ってください。	–
2本のスピーカーでステレオサウンド/ドルビープロロジック※を楽しむ	**＜アナログ接続＞** アナログアンプやミニコンポと接続する	30 **C**		
	＜デジタル接続＞ デジタルアンプやミニコンポと接続する	30 **D**	● デジタル出力、PCMダウンサンプリング変換⇒接続する機器に合わせて設定 ● Dolby Digital、DTS Digital Surround⇒“PCM”に設定	36

こんなこともできます

MDやカセットテープに録音する（☞30ページ）

お知らせ

- 機器との接続は一例です。
- 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご覧ください。

※ドルビープロロジック（☞39ページ）のサラウンド効果を楽しむには
C、または**D**の接続機器の例に加えて、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。接続した機器の説明書をご覧ください。また、この場合スピーカーV.S.S.／ヘッドホンV.S.S.（☞22ページ）は「切」にしてください。「1」（標準）、「2」（強）に設定するとサラウンド効果が正しく働きません。

別売品のご紹介

別売品の品番は、2001年3月現在のものです。品番は変更されることがあります。

■ コード／ケーブル

● 音声コード

RP-CAP3G05	(0.5 m)	RP-CAP3G10	(1.0 m)
RP-CAP3G15	(1.5 m)	RP-CAP3G20	(2.0 m)
RP-CAP3G30	(3.0 m)	RP-CAP3G50	(5.0 m)
RP-CAP3G100	(10.0 m)		

● 光デジタルケーブル

RP-CA2005A	(0.5 m)	RP-CA2010A	(1.0 m)
RP-CA2020A	(2.0 m)	RP-CA2030A	(3.0 m)

● S映像コード

RP-CVS0G10	(1.0 m)	RP-CVS0G20	(2.0 m)
RP-CVS0G30	(3.0 m)	RP-CVS0G50	(5.0 m)

● コンポーネントビデオコード

RP-CVPCG10	(1.0 m)	RP-CVPCG20	(2.0 m)
RP-CVPCG50	(5.0 m)		

● D端子ピンケーブル

RP-CVCDG15	(1.5 m)	RP-CVCDG30	(3.0 m)

● D端子ケーブル

RP-CVDG15	(1.5 m)	RP-CVDG30	(3.0 m)

■ 機器

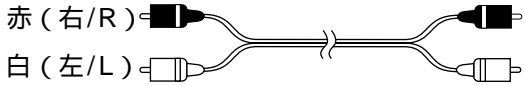
- **AVアンプ**(AVコントロールアンプ) : SU-DA10※
- **フロントスピーカー（L/R、左右一組）** : SB-LV500
- **センタースピーカー** : SB-C500
- **サラウンドスピーカー（L/R、左右一組）** : SB-S500
- **アクティブサブウーハー** : SB-AS30

※ SU-DA10は5.1ch音声入力端子とDolby Digital/DTS Digital Surroundデコーダーを装備しています。

■ クリーナー関連

- **DVD-RAM/PDディスククリーナー** ：RFKZ0093

A AV アンプ（5.1ch 音声入力端子付）と接続

音声コード(別売)

●接続するスピーカーに合わせて端子をよくご確認のうえ、正しく接続してください。

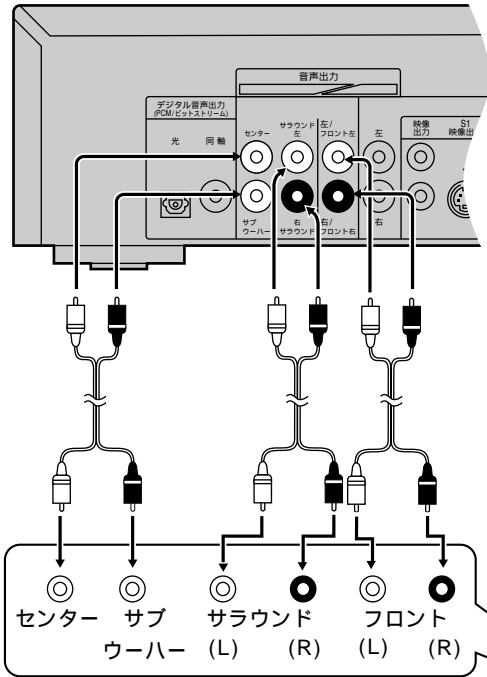
B デコーダー内蔵の AV アンプ（デコーダー＋ AV アンプ）と接続

<光デジタルケーブルの接続>

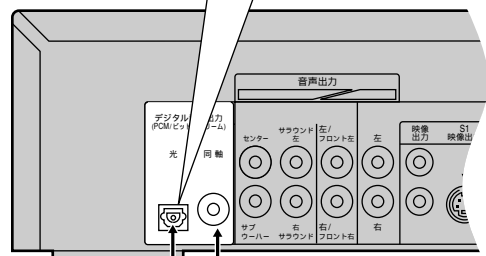
キャップを外す　差し込む

防塵キャップ　形状を合わす

●使わない時はほこりが付かないよう、キャップを付けておいてください。
●ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。

AV アンプ（別売）

スピーカー（別売）
サブウーハーを接続しない場合は、フロントに 100 Hz 以下の低音を再生できるスピーカーを接続することをおすすめします。

例）6 本接続時

● **『スピーカー設定』（☞35 ページ）を行ってください。**

● **『デジタル出力の設定』（☞36 ページ）を行ってください。**

スピーカー V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.は **「切」** にしてください。**「1」**（標準）、**「2」**（強）に設定すると、フロント（L ／ R）以外のスピーカーから音が出ません。(☞22 ページ)

お知らせ

DVD ビデオに対応していない DTS デコーダーは使用できません。

より迫力ある音声で楽しむ（つづき）

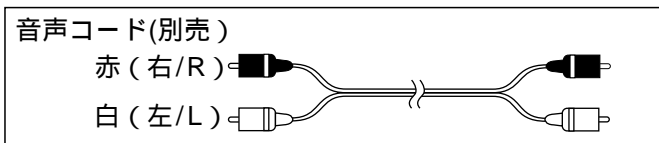
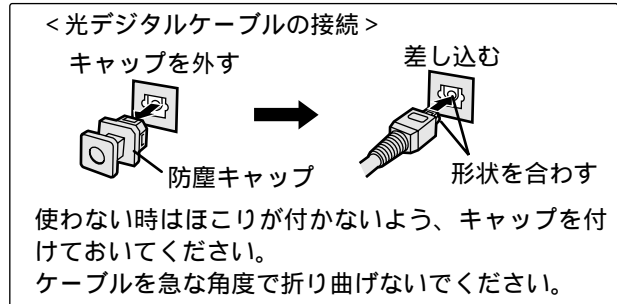
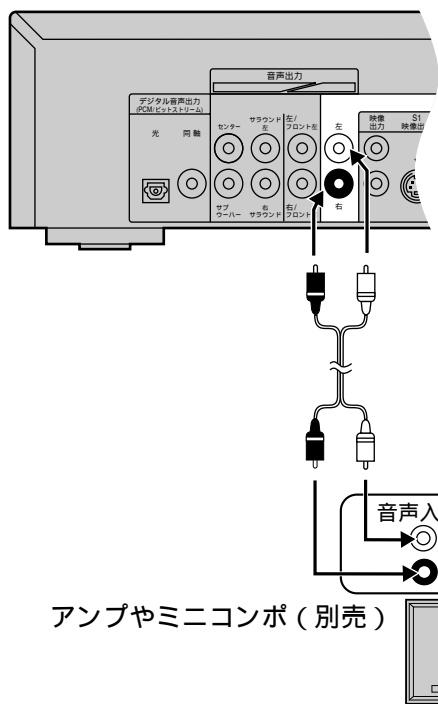
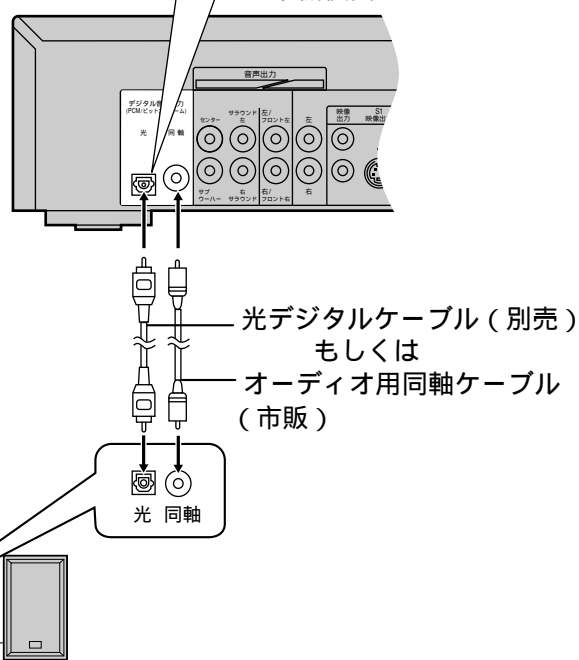
C アナログ音響機器と接続

音声コード(別売)

赤（右/R）

白（左/L）

D デジタル音響機器と接続

- 使わない時はほこりが付かないよう、キャップを付けておいてください。
- ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。

- **『デジタル出力の設定』(☞36 ページ）を行ってください。**

こんなこともできます **～MD やカセットテープに録音する～**

＜アナログ録音する＞

アナログ信号に変換された音声を、著作権保護の影響を受けずにカセットテープや MD に録音できます。

音声コードを使って、本機を録音機器と接続する。(上記 **C** の接続)

＜デジタル録音する＞

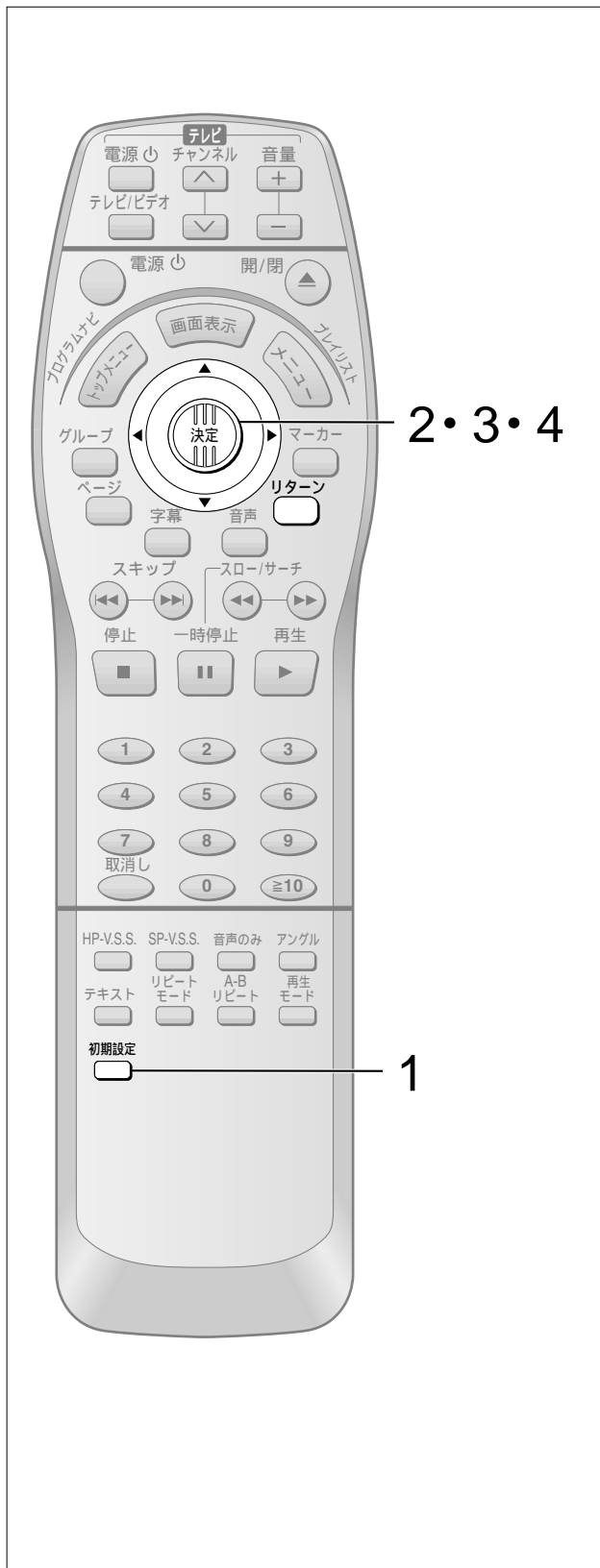
デジタル信号のまま MD などに録音できます。ただし全ての信号がリニア PCM48 kHz／16 bit 以下に変換されます。また、DVD の場合、以下の条件が必要です。

- ディスクに著作権保護の処理がされていない。
- 録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz／16 bit に対応している。

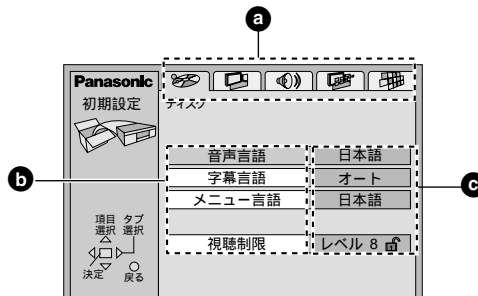
1. 光デジタルケーブルまたはオーディオ用同軸ケーブルを使って、本機を録音機器と接続する。(上記 **D** の接続)
2. DVD の場合、以下の設定をする。
   アドバンストサラウンド V.S.S. ：切（☞22 ページ）
   PCM ダウンサンプリング変換：する（☞32 ページ）
   Dolby Digital/DTS Digital Surround ： PCM（☞32 ページ）
   デジタル出力：入 (RE-MASTER 切)（☞32 ページ）

初期設定を変更する

お知らせ

- 32 ページの一覧表をご覧になり、必要であれば右の操作で変更してください。
- 設定内容は、電源を切っても次に変更するまで保持されます。

設定方法

1 ［初期設定］を押す

（初期設定画面が表示されます。）

ⓐ タブ（メニュー項目）

ディスク、**映像**、**音声**、**画面表示**、**その他**で構成される初期設定のメニュー項目です。このタブを選ぶことで、各項目の設定画面を呼び出します。

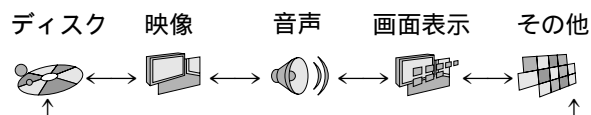
ⓑ 設定項目

選択したタブ内の設定項目です。

ⓒ 設定内容

設定項目の設定状態を表示します。

2 ジョイスティック［◀、▶］で 設定したいタブを選ぶ

ディスク　映像　音声　画面表示　その他

3 ジョイスティック［▲、▼］で 設定項目を選び、［決定］を押す

（設定内容画面が表示されます。）

4 ジョイスティック［▲、▼］で 設定内容を選び、［決定］を押す

（手順 2 で選んだ画面に戻ります。）

■ **ひとつ前の画面に戻るには**

[リターン]を押す

■ **設定を終了するには**

[初期設定]を押す

日本語 のようにアミのかかった項目は、工場出荷時の設定です

初期設定一覧表 （設定方法 ☞ 31 ページ）

メニュー項目	設定項目	設定内容
ディスク（☞ 33 ページ）	**音声言語** DVD-A DVD-V 言語（音声）が選べます。	● 日本語　● 英語 ● オリジナル※1　● その他＊＊＊＊※2
	字幕言語 DVD-A DVD-V 言語（字幕）が選べます。	● オート※3　● 日本語 ● 英語　● その他＊＊＊＊※2
	メニュー言語 DVD-A DVD-V メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。	● 日本語　● 英語 ● その他＊＊＊＊※2
	視聴制限 DVD-V 視聴が制限できます。（☞34 ページ）	● レベル 8　● レベル 7 〜 1　● レベル 0 ● ロック解除　● 暗証番号変更 ● レベル変更　● 一時解除
映像	**TV アスペクト** お使いのテレビサイズに合った画面表示方法が選べます。（☞9 ページ）	● 4 ： 3 パン＆スキャン ● 4 ： 3 レターボックス ● 16 ： 9
	接続する TV 接続したテレビの種類に合わせて設定します。（☞9 ページ）	● 標準(ブラウン管テレビ)　● 3 管式プロジェクター ● 液晶プロジェクター　● プロジェクションテレビ
	スチルモード 静止画像の表示方法が選べます。（☞33 ページ）	● オート　● フィールド　● フレーム
	S 端子出力 S1/S2 のモード 本体後面の S1、S1/S2 映像出力端子への接続に合わせて設定します。（☞33 ページ）	● S1　● S2
音声	**スピーカー設定** DVD-A DVD-V 接続したスピーカーシステムに合わせて設定します。スピーカーの出力設定により、理想的な音空間を創ります。（☞35 ページ）	**マルチチャンネル** スピーカーを 3 本以上接続するとき （スピーカーの有無やサイズ、ディレイタイム、チャンネルバランスの設定も必要となります。☞35 ページ） **2 チャンネル** スピーカーを 2 本接続するときや、ドルビープロロジックデコーダーに接続するとき
	デジタル出力 デジタル出力をする/しないと、デジタル音声に RE-MASTER 機能を働かせる/働かせないかが選べます。（☞33 ページ）	● 入 (RE-MASTER 切) ● 入 (RE-MASTER 入) ● 切
	PCM ダウンサンプリング変換 DVD-A DVD-V 接続に応じて著作権保護処理のされていないディスクの音声信号の出力方法が選べます。（☞36 ページ）	● しない　● する
	Dolby Digital DVD-A DVD-V 接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態（Bitstream）で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態（PCM 2ch）に処理して出力するかが選べます。（☞36 ページ）	● Bitstream　● PCM
	DTS Digital Surround DVD-A DVD-V 上記のドルビーデジタルと同様の選択を、DTS 信号に対して行えます。（☞36 ページ）	● PCM　● Bitstream
	音声のダイナミックレンジ圧縮 RAM DVD-A DVD-V （ドルビーデジタルのみ） 小音量でも映画のセリフを聞き取りやすくします。	● 切　● 入
	早送り時の音声 RAM DVD-A DVD-V VCD 早送りする時、音声が聞こえるようにする/しないが選べます。（☞33 ページ）	● あり　● なし
画面表示	**画面メニュー言語** 初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語が選べます。	● 日本語　● English（英語）
	画面メッセージ 操作時にテレビ画面にメッセージを表示する/しないが選べます。	● 入　● 切
その他	**デモモード** 「する」を選ぶと、テレビ画面上でデモンストレーション表示が始まります。（デモは、リモコン・本体のどのボタンを押しても停止し、設定は「しない」に戻ります。）	● しない　● する

■ 音声言語/字幕言語/メニュー言語について

※ **1“オリジナル”：**
ディスクの最優先言語が選ばれます。

※ **2“その他＊＊＊＊”：**
数字ボタンで言語番号を入力します。（下記参照）

※ **3“オート”：**
“音声言語”で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

お知らせ

ディスクによっては、ディスク内で決められている言語でしか再生できないものもあります。

■ 視聴制限について

レベル 8： すべての DVD ビデオが再生可。
レベル 7～1： 制限レベルが設定されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）は、レベルに応じて再生が不可。
レベル 0： すべての DVD ビデオの再生が不可。

お知らせ

- レベル 0～7 のうちいずれかのレベルを選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。（☞34 ページ）
- 制限レベルが記録されていない DVD ビデオの再生を制限するときは、“レベル 0”を選んでください。

■ スチルモードについて

オート: フレームで静止するかフィールドで静止するかを自動的に切り換える
フィールド: 「オート」設定時に、画像のブレが発生するときに選ぶ
フレーム: 「オート」設定時に、小さい文字や細かい絵柄が見えにくい時に選ぶ

■ S 端子出力 S1/S2 のモードについて

S1: テレビの S または S1 映像入力端子に接続しているとき
S2: テレビの S2 映像入力端子に接続しているとき

■ デジタル出力について

入 (RE-MASTER 切): (工場出荷時)
デジタル出力できます。デジタル音声への RE-MASTER の設定（☞23 ページ）は影響しません。

入 (RE-MASTER 入):
デジタル出力できます。デジタル音声への RE-MASTER の設定（☞23 ページ）が影響します。接続する機器がサンプリング周波数 88.2 kHz に対応していない場合、RE-MASTER を働かせると音声が出力されません。

切： デジタル出力しません
アナログ接続している場合、アナログ音声の音質がよくなります。

お知らせ

RE-MASTER は CD にのみ働きます。

■ 早送り時の音声について

DVD オーディオのディスクには、設定を「なし」にしても音声が聞こえるものがあります。

言語番号一覧表

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6588
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アプハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ヴォラピュック	8679
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
スペイン	6983
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タタール	8484
タミル	8465
タガログ	8476
タジク	8471
チェコ	6783
中国語	9072
チベット	6679
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マダガスカル	7771
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

ジョイスティック
[▲、▼、◀、▶]／
[決定]

数字ボタン

視聴制限（設定方法と内容 ☞ 31 ～ 33 ページ）

DVD-V

視聴制限レベルを設定する（レベル 8 のとき）

お子さまなどに見せたくない DVD ビデオがそのまま再生されないように設定できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。
レベル 0 ～ 7 のうちいずれかのレベルを選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

1 数字ボタンで暗証番号（4 ケタ）を入力する

- 間違った数字を入力したときは、**［取消し］**を押してください。

暗証番号は忘れないでください。

2 ジョイスティック［決定］を押す

3 もう一度、**［決定］**を押す
（暗証番号が確定し、ロックがかかります。）

設定した視聴制限レベルを超えた DVD ビデオを再生すると、メッセージがテレビ画面に表示されます。そのときは画面の指示に従ってください。

制限内容を変更する（レベル 0 ～ 7 のとき）

初期設定画面で “ 視聴制限 ” を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

1 数字ボタンで暗証番号（4 ケタ）を入力し、**ジョイスティック［決定］**を押す

ロック解除： 制限を解除してレベル 8 に戻す
暗証番号変更：暗証番号を変更する
レベル変更： 制限レベルを変更する
一時解除： 一時的に制限レベルを解除する（電源を切るかディスクトレイを開けるまで一時解除の状態が続きます。）

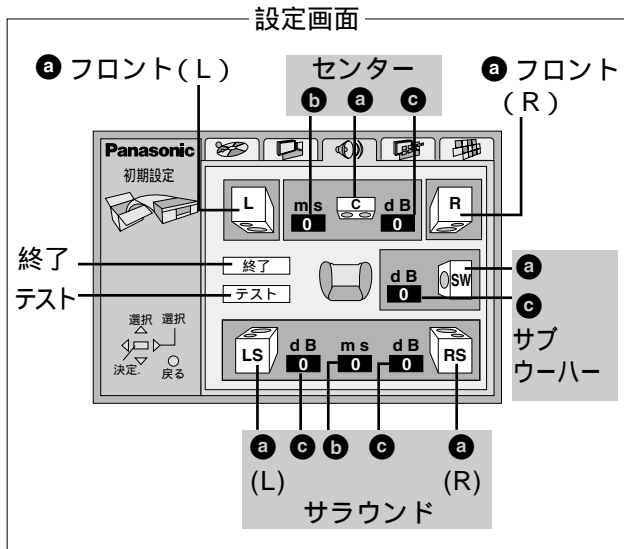
2 ジョイスティック［▲、▼］で項目を選び、**［決定］**を押す

スピーカー設定 （設定方法と内容 ☞ 31 ～ 33 ページ）

DVD-A　DVD-V

初期設定で“マルチチャンネル”（スピーカーを 3 本以上接続）を選んだとき、接続したスピーカーに応じて、以下の ⓐⓑⓒ の設定が必要になります。［“2 チャンネル”（スピーカーを 2 本接続するときやドルビープロロジックデコーダーに接続）を選んだときは、設定の必要がありません。］

設定画面

ⓐ フロント（L）　センター ⓑ ⓐ ⓒ　ⓐ フロント（R）
Panasonic 初期設定
L　ms 0　C　dB 0　R
終了　テスト
dB 0 SW　ⓐ ⓒ サブウーハー
選択 選択 決定 戻る
LS dB 0 ms 0 dB 0 RS
ⓐ ⓒ ⓑ ⓒ ⓐ
(L)　(R)
サラウンド

スピーカーの有無とサイズ（ⓐ）

1 ジョイスティック［▲、▼、◀、▶］で項目を選び**［決定］**を押す

2 ジョイスティック［▲、▼］で内容を変更し、**［決定］**を押す

大：スピーカーが 100 Hz 以下を再生できるとき
小：スピーカーが 100 Hz 以下を再生できないとき

● **工場出荷時のスピーカーサイズ**

フロント（L/R）：大
センター／サラウンド（L/R）：大
サブウーハー：あり

● **サラウンド（L）の場合の表示例**

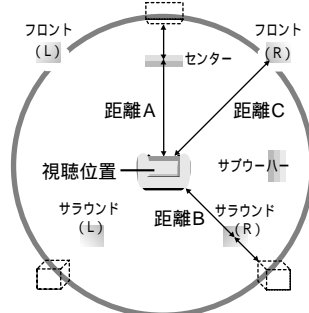
大　

小　

なし　

ディレイタイム（ⓑ）

（ドルビーデジタルで記録された DVD ビデオのセンター／サラウンドチャンネルのみ）

5.1ch 音声を楽しむには、すべてのスピーカー（サブウーハーは除く）を右記のように円上に置くのが理想的です。置けない場合は、ディレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え仮想的に理想の視聴位置を実現します。

1 ジョイスティック［▲、▼、◀、▶］で項目を選び**［決定］**を押す

2 ジョイスティック［▲、▼］で内容を変更し、**［決定］**を押す

● **設定値**

距離 A/距離 B ≧ 距離 C：0 ms
距離 A/距離 B ＜ 距離 C：下記の設定を行う

<センター>

距離の差	設定値
約 50 cm	1.3 ms
約 100 cm	2.6 ms
約 150 cm	3.9 ms
約 200 cm	5.3 ms

<サラウンド>

距離の差	設定値
約 200 cm	5.3 ms
約 400 cm	10.6 ms
約 600 cm	15.9 ms

出力バランス（ⓒ）

各スピーカーの音量レベルが異なるとき調節します。

1 ジョイスティック［▲、▼、◀、▶］で“テスト”を選び**［決定］**を押す

「ザー」というテスト音が以下の順でスピーカーから出力されます。

フロント（L） ⟶ **センター** ⟶ **フロント（R）**
↑　　　　　　　　　　↓
サラウンド（L） ⟵ **サラウンド（R）**

2 フロントと同じ音量で聞こえるように、センター/サラウンドスピーカー(L/R) の音量を**ジョイスティック［▲、▼］**で調節する（− 6 dB ～＋ 6 dB）
● フロントスピーカーの音量調節はできません。

3 ［決定］を押す（テスト音が止まります。）
● サブウーハーからはテスト音が出力されません。ディスクを再生し、音量を確認してから調節してください。

お知らせ

● フロントスピーカーのスピーカーサイズはサブウーハーの設定で自動的に決まります。（サブウーハーを接続しない場合、100 Hz 以下の低音を再生できるフロントスピーカーを接続することをおすすめします。）
● DVD オーディオ再生時、ディスクやプレーヤー側の制約により設定通りに音が出ないことがあります。（本体表示窓で“P.PCM”が点灯、または“D.MIX”が消灯状態になります。）

■ 設定を終了するには

ジョイスティック［▲、▼、◀、▶］で“終了”を選び**［決定］**を押す

初期設定を変更する（つづき）

デジタル出力の設定 （設定方法と内容 ☞ 31～33 ページ）

DVD-A DVD-V

本体のデジタル音声出力端子（光／同軸）と接続するときに設定します。

PCM ダウンサンプリング変換

接続した機器に合わせて、著作権保護処理のされていないディスクの高音質信号（サンプリング周波数 96 kHz または 88.2 kHz）の出力方法を選びます。

設定	接続機器（88.2 kHz 以上の信号への対応）	音声出力	「デジタル出力」の設定
しない※1	対応している	そのまま出力	入(RE-MASTER 入)※2
する	対応していない	48 kHz または 44.1 kHz にダウンして出力	入(RE-MASTER 切)※3

※1 接続機器が 88.2 kHz 以上の信号に対応していない場合、“ しない ” に設定すると、88.2 kHz 以上の音声は出力されません。

※2 RE-MASTER（☞23 ページ）を働かせたとき、CD を高音質で再生できます。

※3 入(RE-MASTER 入)に設定すると、RE-MASTER (☞23 ページ) を働かせたとき、音声が出力されません。

お知らせ

176.4 kHz 以上の信号や、著作権保護処理がされているディスクの高音質信号は、上記の設定に関係なく、48 kHz または 44.1 kHz にダウンして出力されます。

Dolby Digital

- **Bitstream（工場出荷時）**
  ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器と接続したとき
- **PCM**
  ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続したとき

DTS Digital Surround

- **PCM（工場出荷時）**
  DTS デコーダーを内蔵しない機器と接続したとき
- **Bitstream**
  DTS デコーダー内蔵の機器と接続したとき

デコーダーを内蔵しない機器に接続する場合、必ず “ Dolby Digital ” と “ DTS Digital Surround ” を “ PCM ” に設定してください。
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MD などに正しく録音できません。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

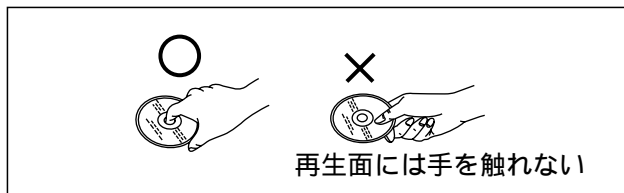
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。合衆国特許 No.5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。海外特許申請中。「DTS」および「DTS デジタルサラウンド」は DTS 社の登録商標です。著作権 1996 年、2000 年 DTS 社。不許複製。

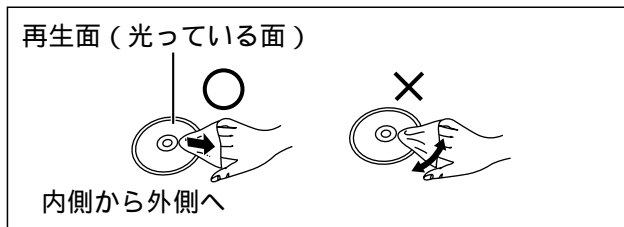
使用上のお願い・お手入れ

ディスクについて

■ 持ちかた

■ 汚れたときは

DVD オーディオ、DVD ビデオ、ビデオ CD、CD

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

推奨品: クリーニングクロス（品番 VUA7091）
（サービスルート扱い）

DVD-RAM

- 必ず専用の **DVD-RAM/PD ディスククリーナー RFKZ0093（別売）**でふいてください。使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をよくお読みください。
- 布や CD 用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

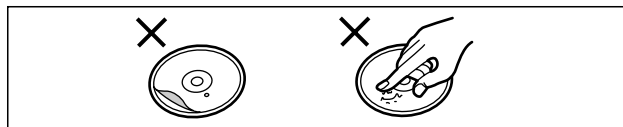
■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

- DVD-RAM の場合は、布を使わずに専用のクリーナー（上記）でふいてください。

■ 取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 紙やシール、ラベルを貼らない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない。

- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない。

ディスクの保管

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

お手入れ

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

お知らせ

- 使用環境により異なりますが、レンズのクリーニングは必要ありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

用語解説

I/P/B

DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

I-picture：共用データの基準として単独で記録されるフレーム

P-picture：過去のI-picture、またはP-pictureを元につくられるフレーム

B-picture：I/P両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

I-pictureの画質がもっとも良く、画質調節をするときは、I-pictureで静止することをおすすめします。

インターレース出力/プログレッシブ出力

従来の映像信号（NTSC）は525i（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p（p：プログレッシブ＝順次走査）といいます。

S1映像出力端子

4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9のサイズに戻して映します。

収録されている映像　　テレビの画面

●テレビのS2映像入力端子と接続する場合、本機のS1/S2映像出力端子を使用してください。

S1/S2映像出力端子

S1の機能に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

収録されている映像　　テレビの画面

●この端子を使用する場合、初期設定「映像」の“S端子出力S1/S2のモード”を“S2”に設定してください。

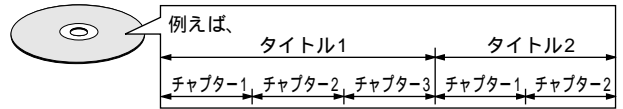
コンポーネント映像出力端子

S映像よりもさらに鮮明な、D1/D2映像と同等の映像を得ることができます。テレビやモニターなどにより入力端子の表示が異なる（Y/P_B/P_R、Y/B-Y/R-Y、Y/C_B/C_Rなど）場合がありますので、そちらの説明書もご覧ください。
また、本端子はプログレッシブ映像出力（525p）にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。一秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

タイトル、チャプター（DVDビデオ）

DVDビデオは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられており、それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

チャンネル（ch）

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。
例）5.1チャンネル

- フロントスピーカー［**L(1ch)/R(1ch)**］
- センタースピーカー（**1ch**）
- サラウンドスピーカー［**L(1ch)/R(1ch)**］
- サブウーハー［**1ch × 0.1 ※ = 0.1ch**］

※出力される音声全体に対して低音が占める割合

GUI画面では以下のように示されます。

D1/D2映像出力端子

S映像よりもさらに鮮明な、コンポーネント映像と同等の映像を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力（525p）にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。
ただし、D1映像入力端子だけを持つテレビに接続する場合は、従来方式（インターレース）の映像のみ楽しめます。
D端子ケーブルを使った接続方法のほかに、D端子ピンケーブルを使って、D端子と本機のコンポーネント映像出力端子を接続することも可能です。

デコーダー

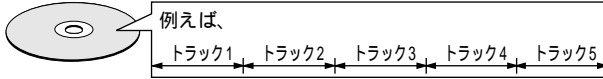
DVDなどに符号化して記録した音声データを、音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

DTS（Digital Theater Systems）

（デジタル シアター システム）

多くの映画館で採用されている最大5.1chのサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く情報量も多いので、リアルな音響効果が得られます。

トラック（DVD オーディオ/ビデオ CD/CD）

DVD オーディオやビデオ CD、CD は、いくつかの区切り（トラック）に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2 チャンネル）はもちろん、最大 5.1ch の独立したサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビープロロジック

4 チャンネル信号を 2 チャンネルに記録し、演算処理により、再び 4 チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

パン＆スキャン/レターボックス

一般的に DVD ビデオは、ワイドテレビ画面（画面の横縦比は 16 ： 9）での再生を想定して作られています。したがって、ワイドテレビでは、記録されたイメージ通りの映像を見ることができます。
このような DVD ビデオの映像を 4 ： 3 のテレビ画面に映し出そうとすると、16 ： 9 の映像が 4 ： 3 の画面に収まらなくなります。この問題を解決するための映像方式がパン＆スキャン、あるいはレターボックスと呼ばれるものです。

- **パン＆スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4 ： 3 の画面で 16 ： 9 の映像を再現します。

光デジタル音声出力端子

電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるので、外部からの電気的な影響による雑音を防ぐことができます。

ビットストリーム（bitstream）

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダーによって 5.1ch などのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

フィルム素材／ビデオ素材

DVD ソフトの映像情報は、以下の 2 通りが一般的です。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが 24 コマ／秒で記録されているもの。（映画撮影で使われるフィルムには、24 コマ／秒で画像が記録されています。）最近では 30 コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像も登場しつつあります。
- **ビデオ素材**
  映像情報が 30 コマ／秒で記録されているもの。

本機は、DVD ソフトに記録された映像情報がフィルム素材かビデオ素材かを判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。

フレーム

＝ フィールド

＋ フィールド

- フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオ CD の再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
本書ではこのようなビデオ CD を「PBC 付きビデオ CD」と呼びます。また、メニュー画面を使って再生することを、ビデオ CD の「メニュー再生」と呼びます。

プレイリスト

お好みのシーンを集めたリストです。連続再生したり、特定のシーンだけを再生することができます。

プログラム

DVD-RAM の区切り。本書では「番組」という表現もしています。

プログラムナビ

テレビ画面に表示される録画番組の内容一覧（リスト）から、好みの番組を選んで見ることができます。録画日時、チャンネル、タイトル（タイトル入力したディスクのみ）が表示されます。選んだ番組はリストの背景に動画で再生されるため、簡単に確認できます。

リニア PCM（LPCM）

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CD では、44.1 kHz/16 bit で記録されているのに対し、DVD では 48 kHz/16 bit ～ 192 kHz/24 bit で記録されているので、CD よりも高音質の再生が可能です。
また、この信号を圧縮し、2ch ステレオ再生できるようにしたものをパックト PCM（P.PCM）といいます。

Q ＆ A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
接続／設置について	ドルビーデジタルや DTS の 5.1ch サラウンド音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か	本機にはドルビーデジタル／ DTS デコーダーが内蔵されていますので、AV アンプ（5.1ch 音声入力端子付）と 6 本のスピーカーを準備すれば、5.1ch サラウンド音声がお楽しみになれます。	29
	スピーカーを直接つなげるか	本機には直接接続できません。AV アンプなどを通して接続してください。	29、30
	ハイビジョンテレビに接続できるのか	接続できます。より良い映像のために、DVD 対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。	8
	S 映像入力端子とコンポーネントビデオ入力端子の両方があるテレビの場合、どちらに接続したらいいのか	コンポーネントビデオ入力端子に接続すると、DVD に記録されたままの状態で信号を出力するため、S 映像入力端子に接続した場合より、さらに忠実に色を再現します。より良い映像のためにはコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。	8
	D 映像入力端子とコンポーネントビデオ入力端子では、どちらが良いのか	DVD の再生という点では両者の性能に差はありません。	8
	LD と接続できるか	本機には接続できません。	―
	引っ越しても使えるか	東日本、西日本に関係なく使えます。	―
	海外でも使えるか	本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	―
使いかたについて	海外で買った DVD ビデオは再生できるか	リージョン番号が**「ALL」**もしくは**「2」**を含んでいて、映像方式が NTSC であれば再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	6
	海外で買ったビデオ CD は再生できるか	映像方式が NTSC であれば再生できます。	6
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVD ビデオ以外のディスクにはリージョン番号はありません。DVD ビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていない DVD ビデオは再生できません。	―
	CD-G は再生できるか	再生できません。	―
	ビデオで録画できるか	ほとんどの DVD オーディオ／ビデオディスクはコピー禁止処理がされており、録画できません。	―
機能について	デジタル録音できるか	192 kHz や 96 kHz の信号はそのままではデジタル録音できませんが、48 kHz に変換することで行えるようになります。ただし、デジタル録音が禁止されているものもあります。	30
	テレビやビデオなどに比べて音が小さいが	DVD の音声は、テレビの音声などに比べて小さな音量で収録されています。	11

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源について	**電源が入らない**	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	8
	勝手に電源が切れる	停止状態で約30分経過すると、節電のため、電源が自動的にスタンバイ状態になります。**（オートパワーオフ）** 再度電源を入れ直してください。	11
操作について	**各ボタン操作ができない**	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	―
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を「切」「入」してみるか、電源コードをコンセントから抜き差ししてみてください。	―
	リモコンが働かない	乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものに交換してください。	7
		リモコン受信部に向けて正しく操作してください。	7
	テレビがリモコンで操作できない	テレビのメーカー番号を切り換えてください。（メーカーや機種によっては対応していないものもあります。）	7
	[▶]（再生）を押しても、再生が始まらない（または、すぐに停止する）	寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。	―
		本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	6
		ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。	37
		ディスクを正しくセットしてください。	10
		記録済みのDVD-RAMディスクが入っているか確認してください。	―
	音声／字幕言語が切り換えられない	複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。	―
		音声／字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。	11
	字幕が出ない	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません。	―
		字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。	23
		A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	18 19
	アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	―
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた **すべての設定を、工場出荷時に戻したい**	以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 **1** 停止中、本体の**[❚❚]（PAUSE（ポーズ））**と**[⏮/◀◀]**を押しながら、**[⏏ OPEN/CLOSE（オープン/クローズ）]**を押す（テレビ画面の“オールクリア”表示が消えるまで3つのボタンを押し続けます。） **2** 本体の電源を一度**「切」「入」**する	―

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
音声について	**音が出ない（または音がおかしい）**	接続した機器の音量を確認してください。	―
		接続、設定を確認してください。	8、29、30 35、36
		接続した機器の入力切換は正しいですか？	―
		音声がひずむ場合は、アドバンストサラウンドを「切」にしてください。	22
		アナログ接続で 3 本以上のスピーカーをつないでいるときは、スピーカー V.S.S.／ヘッドホン V.S.S.を「切」にしてください。	22
		アナログ接続をしている場合は、初期設定「音声」の“デジタル出力”を「切」にしてみてください。	32
		動画または画像の入ったDVDオーディオ再生中、本体の［AUDIO ONLY（オーディオ オンリー）］ボタンを押し、音声のみの再生にしてください。	23
		オーディオオンリー機能が動作中は、テレビによっては映像が映らなくなるだけでなく、音も出なくなる場合があります。	23
		マルチチャンネルのDVDオーディオディスク再生時に、本体表示窓の“D. MIX”表示が消灯するときは、ディスク側が指定したスピーカー接続でないと正常に再生できません。ディスクのジャケットなどもご覧ください。	44
	耳を刺激するような音が出る	他の機器とデジタル接続しているときは、初期設定で、接続した機器に応じて“Dolby Digital”や“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。	36
映像について	**早送り／早戻しをしたら画像が乱れる** **オーディオオンリーを解除したとき一瞬画面が揺れる**	多少乱れることがありますが、故障ではありません。	―
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください。	8
		テレビの電源は入っていますか？	―
		テレビの入力切換は正しいですか？	―
		初期設定「映像」の“TV アスペクト”は正しく設定されていますか？	9
		テレビ側の画面モードを変更してください。	―
		プログレッシブ再生をしている場合、GUIの映像設定“4:3 ASPECT”、“Shift Position”で画面サイズを調整してください。	27
		テレビ画面に“PAL方式のディスクです。音声のみ出力します。”が出ている場合は、PAL方式のDVDオーディオディスクが入っています。（音声のみ再生可能です。）	―
		プログレッシブ入力に対応していないテレビでは、本機のプログレッシブ映像は楽しめません。本機のプログレッシブ出力を「切」にしてください。	10
	プログレッシブ出力（525p）時、映像の一部が二重にぶれて見える	プログレッシブ出力を「切」にしてください。映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力（525i）では問題なく再生できます。	10
	画質がよくない	GUIの映像設定で画質を調節してください。	27
	色がおかしい	GUIの映像設定“Output”で設定を確認してください。	27

表示について

こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
画面メッセージが出ない	初期設定「画面表示」の“画面メッセージ”を「入」にしてください。	32
GUI画面が欠ける（または表示されない）	GUI画面表示中、ジョイスティック［◀、▶］で右端の上下矢印アイコンを選び、［▲、▼］で位置を変えてください。	24
画面に残像が多く残る	本体前面のMPEG DNRを「切」にしてください。（ランプが消灯します。）または、GUI画面の「ユーザー画質（U1～U4）」で画質を調節してください。	23 27 44
表示窓に“No Play”と表示する	再生できないディスクが入っています。	6
	番組が記録されていないDVD-RAMディスクが入っています。	—
画面に“ディスクを確認してください”と表示する	ディスクがよごれています。	37
表示窓に“Error”が表示される	規格違反のトラックを再生しています。正常に再生できません。	—
表示窓に“H□□”と表示する（□□は数字）	異常が発生しました。（“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、「切」「入」してください。	—
表示窓に“No Disc”と表示する	ディスクが入っていません。	—
	ディスクが正しく入っていません。	—

■ **処置をされても表示が消えないときは**

お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（☞47ページ）に修理をご依頼ください。
その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。（例：**「H01」**）

プログレッシブ対応テレビ一覧表

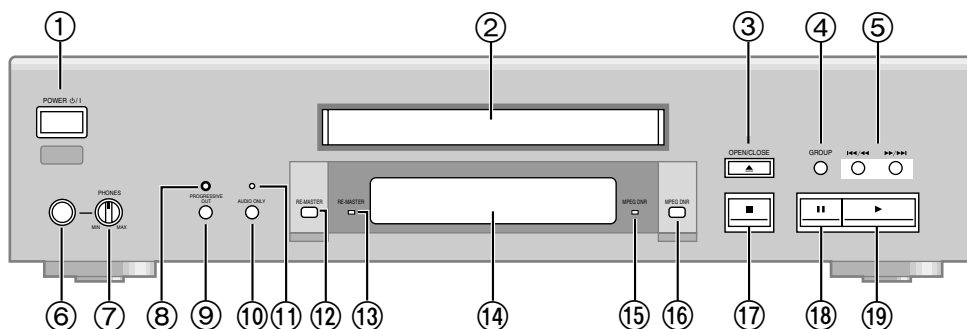
テレビタイプ	品番	
BSデジタルハイビジョンテレビ	TH-36DH100	TH-36D100
	TH-36D10	TH-32D100
	TH-32D10	TH-28D10
ハイビジョンテレビ	TH-36FH1	TH-32FH1
	TH-36FH10	TH-32FH10
	TH-36HG1	TH-32HG1
	TH-28HW2	TH-32HW3
プログレッシブワイドテレビ	TH-36FP10	TH-32FP10
	TH-36FP15	TH-32FP15
	TH-28FP15	TH-36FP20
	TH-32FP20	TH-28FP20

テレビタイプ	品番	
プログレッシブテレビ	TH-33FP2	TH-29FP2
	TH-29FP3	
DVDビデオ内蔵ワイド液晶テレビ	TH-15DT2	
	TH-15DTX1	
ワイド液晶テレビ	TH-22LT1	
	TH-15LT1	
プラズマディスプレイ	TH-42PD2	TH-37PD2
	TH-42PM2	TH-37PM2
	TH-42PM30	TH-42PM20
	TH-37PM20	TH-42PWD3
リアプロジェクター	TH-47FP10	TH-48FH10

※上記一覧表は、2001年3月現在のものです。（当社製テレビのみ）

各部のなまえとはたらき

【 】内は参照ページを表しています。

本体

① [POWER ⏻/I]（電源）ボタン【10】
電源を「入」「切」する

② ディスクトレイ【10】

③ [⏏、OPEN/CLOSE]（開／閉）ボタン【10】

④ [GROUP]ボタン【15】
DVD オーディオのグループを選択する

⑤ [⏮/◀◀、▶▶/⏭]（スキップ／サーチ）ボタン【12】
映画や音楽を頭出ししたり、早送り／早戻しする

⑥ ヘッドホン端子【10】

⑦ [PHONES]（ヘッドホンレベル調整）つまみ【10】
ヘッドホンの音量を調節する

⑧ プログレッシブ出力ランプ
プログレッシブ出力が選ばれているとき点灯する

⑨ [PROGRESSIVE OUT](プログレッシブ出力選択)ボタン【10】
接続するテレビに応じて、プログレッシブ出力（525p）するかインターレース出力（525i）するか選ぶ

⑩ [AUDIO ONLY]ボタン【23】
映像信号の出力を停止し、音声信号のみ出力する

⑪ AUDIO ONLY ランプ
オーディオオンリー機能が働いているとき点灯

⑫ [RE-MASTER]ボタン【23】
音質を向上させるリマスター回路を「切」「入」する。「入」にすると音質が向上します。（リマスターは 44.1 kHz/16 bit で 2ch 以下の音声信号に対して働きます。）

⑬ [RE-MASTER]ランプ
リマスター回路が働いているとき点灯

⑭ 表示窓（下記）

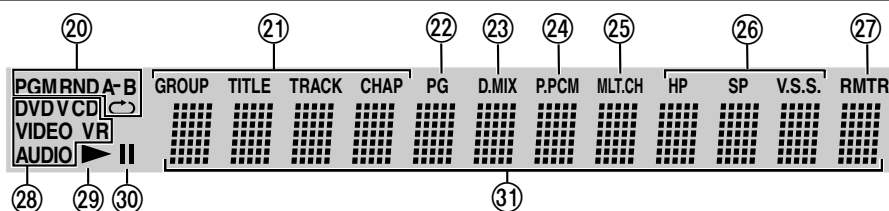
⑮ [MPEG DNR]ランプ
MPEG DNR 機能が働いているとき点灯

⑯ [MPEG DNR]ボタン【23】
MPEG DNR 機能を「切」「入」する

⑰ [■]（停止）ボタン【11】

⑱ [❚❚]（一時停止）ボタン【12】

⑲ [▶]（再生）ボタン【10】

表示窓

⑳ 再生状態表示
PGM：プログラム再生／**RND**：ランダム再生
⟲：リピート再生／**A-B** ⟲：A-B リピート再生

㉑ メイン表示部の表示モード
GROUP：グループ表示モード／**TITLE**：タイトル表示モード
TRACK：トラック表示モード／**CHAP**：チャプター表示モード

㉒ PG 表示
DVD-RAM のプログラムナビ再生中に点灯

㉓ D.MIX (Down Mix)表示
音声信号がダウンミックス（マルチチャンネル信号を 2ch に集約）可能なとき点灯

㉔ P.PCM (Packed PCM)表示
P.PCM 信号が入ると点灯

㉕ MLT.CH (Multi Channel)表示
マルチチャンネル信号が出力されているとき点灯

㉖ アドバンストサラウンド V.S.S. 表示
HP V.S.S.：ヘッドホン V.S.S.
SP V.S.S.：スピーカー V.S.S.

㉗ RMTR (RE-MASTER)表示
リマスター回路が働いているとき点灯

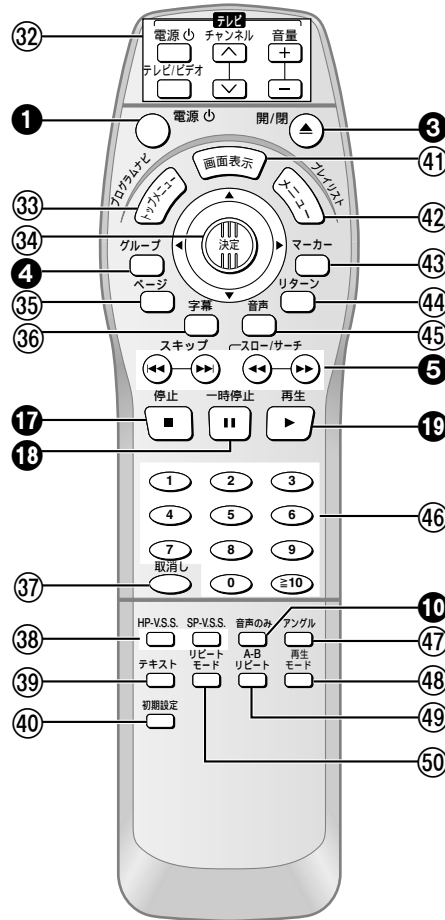
㉘ ディスク表示
DVD VR：DVD-RAM／**DVD AUDIO**：DVD オーディオ
DVD VIDEO：DVD ビデオ／**VCD**：ビデオ CD
CD：音楽 CD

㉙ 再生表示
再生中に点灯。続き再生メモリー機能が働いているとき点滅

㉚ 静止（一時停止）表示

㉛ メイン表示部
再生経過時間やトラック番号、各種メッセージなどを表示

リモコン

❶ や ❸ などのボタンは本体の ① や ③ のボタンと同じ働きをします。

㉜ **テレビ用ボタン**
- **[電源 ⏻]ボタン**【7】
  テレビの電源を「切」「入」する
- **[テレビ/ビデオ]ボタン**【7】
  テレビの入力を切り換える
- **[∧∨ チャンネル]ボタン**【7】
  テレビのチャンネルを選ぶ
- **[+− 音量]ボタン**【7】
  テレビの音量を調節する

㉝ **[トップメニュー]、[プログラムナビ]ボタン**【11、20】
ディスクメニューやプログラムナビ画面を表示する

㉞ **ジョイスティック[▲、▼、◀、▶]／[決定]ボタン**【9】
上下左右に倒すと選択、押すと決定する

㉟ **[ページ]ボタン**【13】
DVD オーディオの静止画を選択する

㊱ **[字幕]ボタン**【23】
DVD の字幕言語を切り換える

㊲ **[取消し]ボタン**【15】
入力した数字を取り消す

㊳ **[HP-V.S.S.]、[SP-V.S.S.]（アドバンストサラウンド V.S.S.）ボタン**【22】
ヘッドホン V.S.S.（HP-V.S.S.）やスピーカー V.S.S.（SP-V.S.S.）を「入」「切」したり、レベルを変えたりする

㊴ **[テキスト]ボタン**【11】
ディスクにテキスト情報が記録されている場合、その情報をテレビ画面に表示する

㊵ **[初期設定]ボタン**【9、31】
初期設定画面を表示する

㊶ **[画面表示] ボタン**【24】
GUI 画面を表示する

㊷ **[メニュー]、[プレイリスト]ボタン**【11、21】
ディスクメニューやプレイリスト画面を表示する

㊸ **[マーカー]ボタン**【18】
見たい（聴きたい）箇所を記憶する

㊹ **[リターン]ボタン**【11】
メニューを一つ手前に戻す

㊺ **[音声]ボタン**【23】
DVD の音声言語を切り換える

㊻ **数字ボタン**【11】
数字を入力する

㊼ **[アングル]ボタン**【23】
マルチアングルが記録されている DVD で、角度を切り換える

㊽ **[再生モード]ボタン**【16】
「通常再生」「オールグループ再生」「プログラム再生」「ランダム再生」を切り換える

㊾ **[A-B リピート]ボタン**【19】
指定した 2 点間を繰り返し再生する

㊿ **[リピートモード]ボタン**【19】
繰り返し再生する

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、DVD AUDIO/VIDEO プレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

41 ～ 43 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	DVD AUDIO/VIDEO プレーヤー	お買い上げ日	年　月　日
品番	DVD-RP91	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

お取り扱い・お手入れなどのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）
FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック

修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

●お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-7725

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(0839)86-4050

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。 0101

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

主な仕様

電源	AC 100 V　50／60 Hz
消費電力	12 W（電源「スタンバイ」時 約 1.5 W）

外形寸法	430 (幅)× 265 (奥行)× 99 (高さ) mm 突起物を含まず
質量	約 3.5 kg
許容周囲温度	+5 ～ 35 ℃
許容相対湿度	5 ～ 90 % RH（結露なきこと）
再生可能ディスク	● DVD-RAM（DVD-VR 規格対応のディスク） ● DVD-Video　● DVD-Audio ● 音楽用 CD（CD-DA）　● ビデオ CD ● CD-R/RW（CD-DA、ビデオ CD フォーマットのディスク）
信号形式	NTSC
映像出力	出力レベル　：1 Vp-p（75 Ω） 出力端子　：ピンジャック 端子数　：2 系統
S 映像出力	Y 出力レベル　：1 Vp-p（75 Ω） C 出力レベル　：0.286 Vp-p（75 Ω） 出力端子　：S 端子 端子数　：2 系統
コンポーネント映像出力 (525P/525I)	Y 出力レベル　：1 Vp-p（75 Ω） P_B/C_B 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω） P_R/C_R 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω） 出力端子　：ピンジャック （**Y**: 緑、**P_B/ C_B**: 青、**P_R/ C_R**: 赤） 端子数　：1 系統
D1/D2 映像出力	Y 出力レベル　：1 Vp-p（75 Ω） P_B/C_B 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω） P_R/C_R 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω） 出力端子　：D 端子 端子数　：1 系統

音声出力	出力レベル：2 Vrms（1 kHz、0 dB） 出力端子　：ピンジャック 端子数： 2CH　：1 系統 5.1CH　：1 系統
音声出力特性	**周波数特性** ● DVD（リニア音声） 4 Hz ～ 22 kHz（48 kHz サンプリング） 4 Hz ～ 44 kHz（96 kHz サンプリング） ● DVD オーディオ 4 Hz ～ 88 kHz（192 kHz サンプリング） ● CD　4 Hz ～ 20 kHz（EIAJ） **S ／ N 比** ● CD　115 dB（EIAJ） **ダイナミックレンジ** ● DVD（リニア音声）　103 dB ● CD　99 dB（EIAJ） **全高調波歪率** ● CD　0.002 %（EIAJ）
デジタル音声出力	光デジタル出力　：光コネクター 同軸デジタル出力　：ピンジャック
ヘッドホン出力	ステレオ標準ジャック

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です

音のエチケット シンボルマーク

愛情点検　**長年ご使用の DVD AUDIO/VIDEO プレーヤーの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	DVD-RP91
販売店名	☎（　）　－	お客様ご相談窓口	☎（　）　－

松下電器産業株式会社　デジタル AV ネットワーク事業部

〒571－8505　大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT5732-S
F0301YM0

プログレッシブ出力時に画面の位置がずれる場合は...

お使いのテレビによっては画面の位置がテレビ画面の左右方向にずれを生じることがあります。この場合は、以下の操作で画面の位置を調整してください。

1 再生中、本体の
[PROGRESSIVE OUT]を押す
（本体のプログレッシブ出力ランプが点灯します。）

2 **[❚❚] (一時停止)を押す**
（静止画状態になります。）

3 リモコンの
ジョイスティック[◀]（左へ移動）、[▶]（右へ移動）を倒した状態で、本体の [■] (停止)を押す
（画面が少し移動します。）
ジョイスティックとボタンから一度手を離した後、この手順をくり返します。

例） 画面を左に移動させる

画面のずれ

- [PROGRESSIVE OUT]を押して、出力ランプを消灯させた状態の画面（インターレース出力）と画面位置を合わせます。

お知らせ

調整後の位置は、電源コードをコンセントから抜くまで記憶されます。